USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

W20000

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

W5000-ja.book 1 ページ ２００７年１０月１１日 木曜日 午前１１時４８分

BenQ

W20000/W5000 デジタル プロジェクタ
ホームシネマシリーズ
取扱説明書

Welcome

目次

安全上のご注意 3

概要 6

パッケージ内容 6
リモートコントロールとバッテリー 6
リモコン操作 6
プロジェクタの特長 7
プロジェクタ外観ビュー 8
制御装置および機能 10
- コントロール パネル 10
- リモートコントロール 11

プロジェクタの配置 12

場所の選択 12
スクリーンサイズの調整 13
- 投写レンズの縦方向シフト 13
- 使用するスクリーンサイズに対しプロジェクタの設置場所を決定する. 14
- 設置する距離に対し推奨するスクリーンサイズを決定する 14
- 投写サイズ 15

ビデオ装置の接続 17

- 準備 17
- HDMI デバイスの接続 18
- RGBHV デバイスの接続 18
- コンポーネントビデオ機器との接続. 18
- S ビデオまたはビデオ装置の接続 19
- コンピュータの接続 19

プロジェクタの使用方法 20

起動 20
入力ソースの選択 21
メニューの使用方法 22
画像サイズと明瞭さの微調整 22
プロジェクタの保護 23
- セキュリティケーブルロックの使い方 23
- パスワード機能の使い方 23

投写イメージの調整 25
- 投写角度の調整 25
- 画像の歪みの補正する 25

プリセットとユーザーモードの使い方 26
画質の微調整 28
画質の詳細設定 29
縦横比の選択 33
高地での操作 34
複数の画像ソースを同時に表示する 35
オリジナルのスタートアップ画面を作成する 36
プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ 36
コントロールキーをロックする 37
終了 37
OSD (On-Screen Display) メニュー. 38

追加情報 44

プロジェクタのお手入れ 44
ダストフィルタのお手入れと取り替え 44
ランプについて 46
- ランプ時間を知るには 46
- ランプ寿命を延長する 46
- ランプ交換のタイミング 47
- ランプの交換 47

インジケータ 50
トラブルシューティング 51
仕様 52

保証と著作権について 55

法規 56

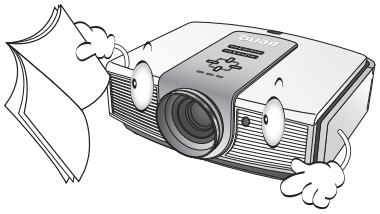
日本語

高性能 BenQ ビデオプロジェクタをお買い上げいただきありがとうございます ! 本製品はホームシアターもお楽しみいただけるよう設計されています。最高の結果をお楽しみいただくために、コントロールメニューや操作方法については本書をよくお読みください。

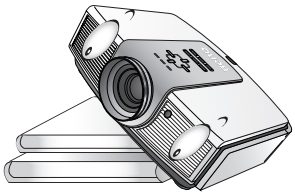
安全上のご注意

お使いのプロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

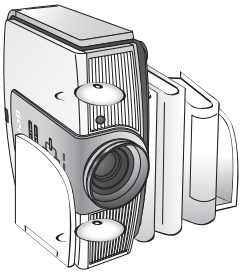
1. プロジェクタを操作する前に、このユーザーガイドをお読みください。本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。



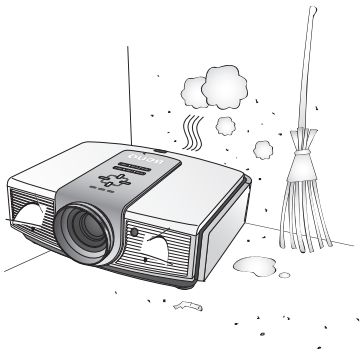
2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
   - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。
   - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。
   - 左右の傾きが 10° 、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。



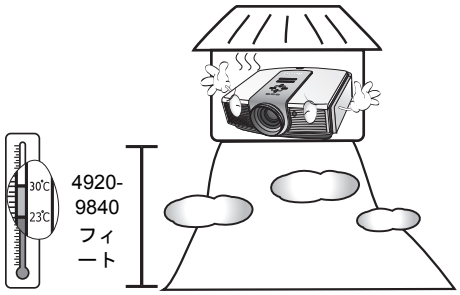
3. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクタが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。



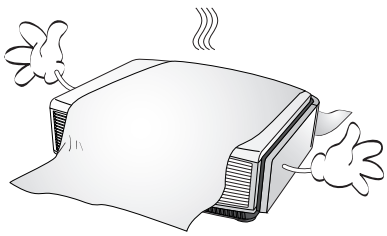
4. 次の場所に装置を置かないでください。
   - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
   - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
   - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



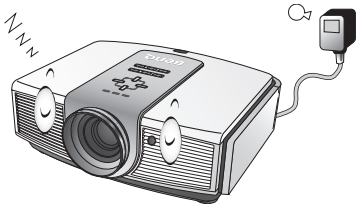
   - 火災報知器に近い場所。
   - 周辺温度が 35°C / 95°F を超える場所。
   - 高度が 海抜 1500 メートル / 4920 フィートを超える場所。



5. プロジェクタ動作中に通気孔をふさがないでください (スタンバイモードでも同様) :
   - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
   - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。



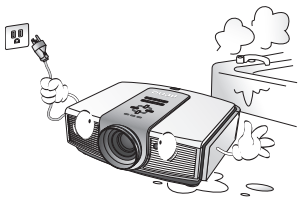
6. メインの電源電圧が ±10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクタを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお薦めします。



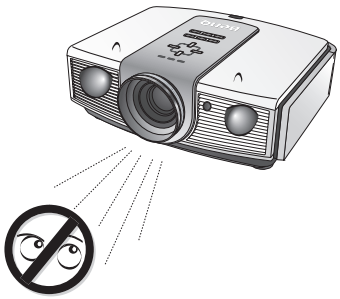
7. 装置の上に乗ったり、物を置かないでください。



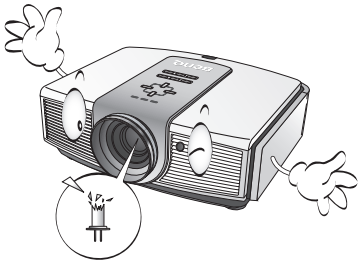
8. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタに液体が入った場合は、保証は適用されません。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。



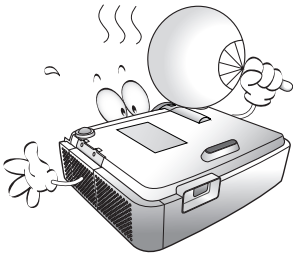
9. 動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。



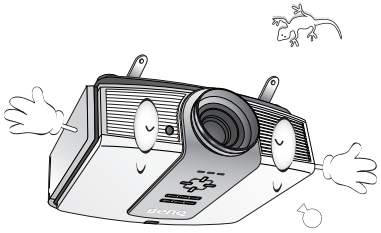
10. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



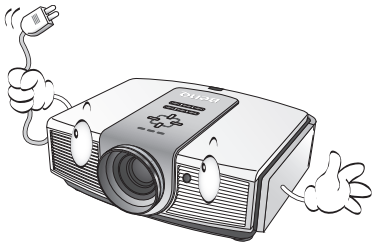
11. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。



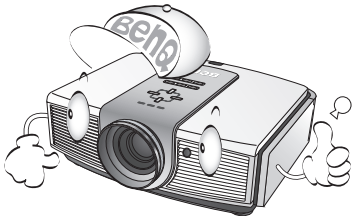
12. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。BenQ の天井取り付けキットを使用してください。



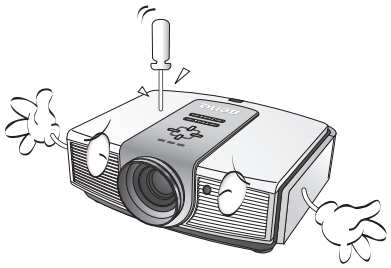
13. プロジェクタが完全に冷却され、電源からコードを外すまでは、絶対にランプ部品を交換しないでください。



14. 点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。



15. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。ユーザーが補修できるパーツはランプ、および専用の取り外し可能なカバーまたはアクセスパネルが付いているエアフィルタだけです。詳細は 45 と 47 を参照してください。
いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。



⚠注意

将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。使用後にプロジェクタを梱包する必要がある場合は、搬送中に製品が破損しないように投写レンズを適切な位置に調整し、レンズをレンズクッションで保護し、さらにレンズクッションとプロジェクタクッションをぴったりとくっつけてください。

結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクタを移動させた後は、すぐには装置を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクタの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも 2 時間以上経過してから装置を使用してください。

揮発性液体の使用の禁止

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を装置の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間装置に触れたままの状態で放置しないでください。装置に痕が残ってしまいます。化学薬品を染み込ませた布で装置を拭く場合は、本書に記載される安全のための指示にしたがってください。

処理

本装置には人体や環境に有害な素材が使用されています。

- リード (はんだに使用されています)
- 水銀 (ランプに使用されています)

製品や使用済みランプを処理する方法については、お住まい地域の環境局にお尋ねください。

プロジェクタの天井取り付け

BenQ プロジェクタを安心してお使いいただくために、ここに記載する注意をよくお読みになり指示にしたがってください。

プロジェクタを天井に取り付ける場合は、BenQ プロジェクタ専用天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

BenQ プロジェクタ以外の天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクタが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

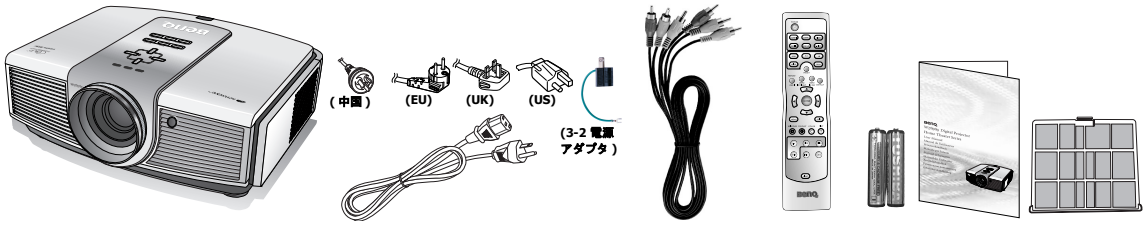
BenQ プロジェクタ専用天井取り付けキットは、BenQ プロジェクタを購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途ケンジントンロックをお求めになり、プロジェクタのケンジントンロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお薦めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクタを補助的に支えることができます。

概要

パッケージ内容

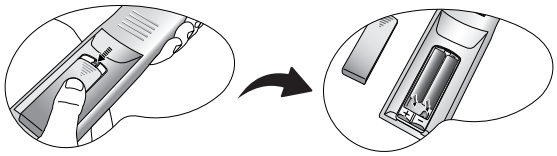
プロジェクタには、ビデオ装置への接続に必要なケーブルが同梱されています。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアイテムもあります。ご購入場所をご確認ください。

☞ **アクセサリのいくつかは、国によって異なる場合があります。**
保証書と安全のための説明書が提供されない地域もあります。詳細は、本製品を購入された販売店へお問い合わせください。



プロジェクタ　電源ケーブル　コンポーネントビデオケーブル　リモートコントロール　電池　取扱説明書　ダストフィルタ

リモートコントロールとバッテリー



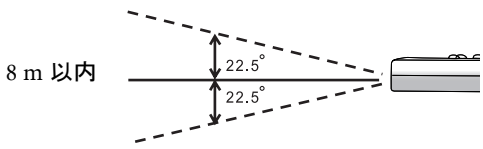
1. バッテリーカバーを開くには、リモコンを裏返してカバーのグリップを押し、図に示す方向にスライドさせてください。するとカバーが外れます。
2. 挿入されている電池を外し (必要な場合)、単 2 電池 2 個を極性に注意しながら挿入してください。プラス極 (+) はプラスに、マイナス極 (-) はマイナスの方向に挿入してください。
3. 再びカバーを元に戻してください。カチッという音がしたらカバーが閉まったことを意味しています。

☞ **バッテリーについてのご注意**

- 古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用したり、異なるタイプのバッテリーを混ぜて使用したりしないでください。
- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- リモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

リモコン操作

- リモコンとプロジェクタの赤外線（IR）センサーの間には、IR 光線の障害となるような物を置かないでください。
- リモコンの有効範囲は最高 8 メートル、角度にして 45 度以内です。赤外線光線はスクリーンにも反射しますが、常にプロジェクタに向けて当てるようにしてください。

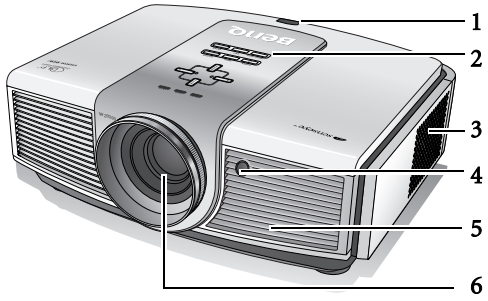


プロジェクタの特長

- **HD に完全対応**
  このプロジェクタは標準精度 TV (SDTV) 480i、480p、576i、576p、および高精度 TV (HDTV) 720p、1080i、1080p フォーマット、真の 1 : 1 再現を実現する 1080p フォーマットと互換性があります。
- **高画質**
  このプロジェクタは高解像度、高度なホームシアター輝度、超高コントラスト、鮮明な色、優れたグレイスケール再現により、高画質な画像を提供します。
- **超高コントラスト**
  このプロジェクタにはモーターにより作動する IRIS コントロールレンズが搭載されており、高コントラストを実現します。
- **鮮明な色再現**
  このプロジェクタには 7 セグメントカラーホイールが備わっており、これ以下のセグメントのカラーホイールでは実現できないリアルな色合いと色域を実現します。
- **優れたグレイスケール**
  このプロジェクタを暗い部屋で使用する場合は、自動ガンマコントロールによりシャドウの詳細や夜または暗いシーンの詳細を優れたグレイスケールで表示します。
- **超低音作動**
  特別な冷却システム設計により、ファンの耳障りなノイズを防止します（通常モードでは 25 dB、小音量では 23 dB）。
- **モーター作動によるレンズシフト**
  リモコンを利用するとイスに座ったままでレンズを縦方向にシフトさせることができます。この機能は、プロジェクタが天井や、パネルコントロールに手が届きにくい場所に取り付けられている場合に特に便利です。
- **多様な入力機能とビデオフォーマット**
  このプロジェクタはコンポーネントビデオ、S ビデオ、コンポジットビデオ、HDMI、RGBHD、などを含め、ビデオと PC 装置を接続するためのさまざまな入力方式や、自動化スクリーンや環境照明システムに接続にするための出力トリガーに対応しています。
- **ISF 認証キャリブレーションコントロール**
  優れた性能を提供するために、今プロジェクタには OSD メニューから ISF NIGHT モードと ISF DAY モードの設定を行うことができます。これらは認証された ISF 設置技術者のプロフェッショナルなキャリブレーションサービスを必要とします。
- **Panamorph レンズ対応**
  このプロジェクタは 16 : 9 プロジェクタを縦横比 2.35 : 1 に変換できる Panamorph レンズに対応しています。

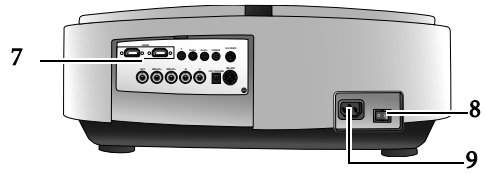
プロジェクタ外観ビュー

前面 / 上面



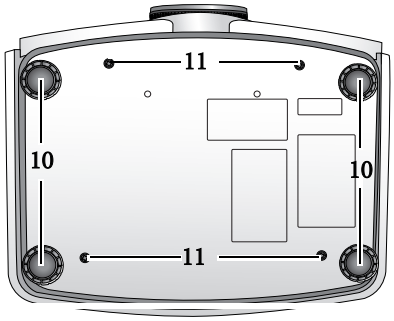
1. 背面 IR センサー
2. コントロール パネル
   (詳細は 10 ページの " コントロール パネル " を参照してください。)
3. ダストフィルタ グリル (冷気取り込み)
4. 前面 IR センサー
5. 通気 （熱気排出）
6. 投写レンズ

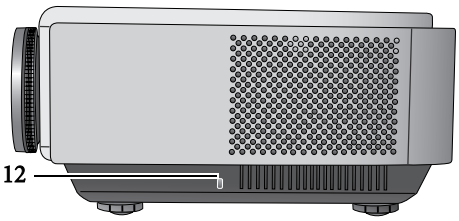
背面



7. コントロール パネル (詳細は下記を参照してください)
8. メイン AC 電源スイッチ
9. 電源ケーブルソケット

底面と側面



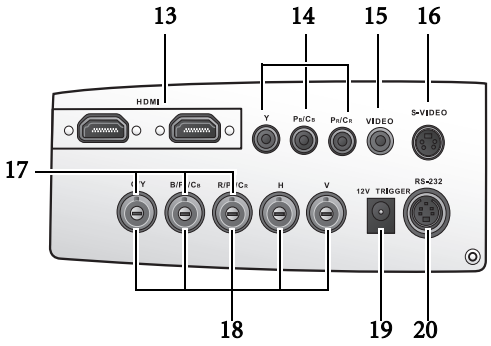


10. 調整可能なフット
11. 天井取り付け用の穴
12. Kensington ロック スロット

日本語

コネクタ パネル

接続についての詳細は、17 ページの " ビデオ装置の接続 " を参照してください。

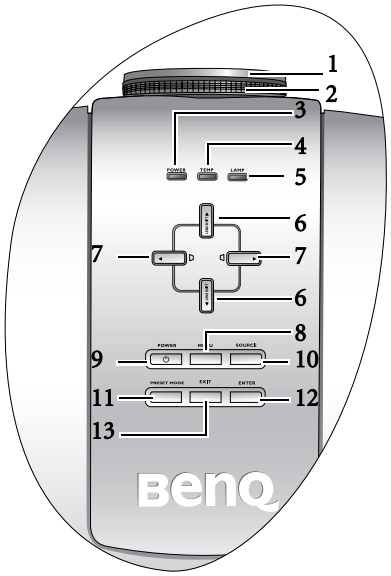


13. HDMI ポート
14. コンポーネントビデオ入力 （RCA）
    Y/PB/PR または Y/CB/CR ビデオ信号に対応しています。
15. コンポーネントビデオ入力 （RCA）
16. S-Video 入力 (ミニ 4-pin DIN)
17. コンポーネントビデオ入力 （BNC）
    Y/PB/PR, Y/CB/CR または RGB ビデオ信号に対応しています。
18. RGB 高精度入力 (BNC)
    RGBHV ビデオまたは PC 信号入力に対応しています。
19. 12VDC 出力端末
    電子スクリーンや照明コントロールなど、外付け装置を使用するために使用します。これらの装置の接続方法については、販売店へお尋ねください。
20. コード付きリモコン接続用 RS-232C ポート

日本語

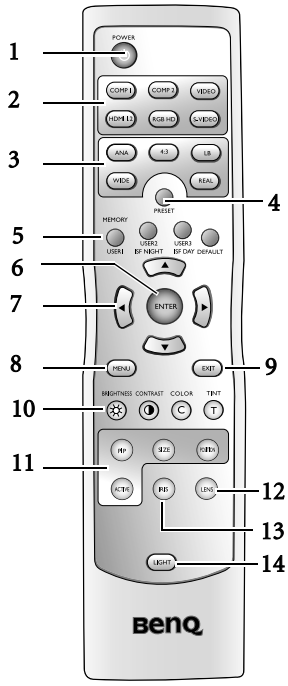
制御装置および機能

コントロール パネル



1. **ピントリング**
   投写イメージの焦点を調整します。
2. **ズームリング**
   投射した画像のサイズを調整します。
3. **POWER (電源インジケータ ライト)**
   プロジェクタ動作中に点灯または点滅します。詳細は、50 ページの " インジケータ " を参照してください。
4. **TEMP (温度警告ライト)**
   プロジェクタの温度が異常に高くなると点灯または点滅します。詳細は、50 ページの " インジケータ " を参照してください。
5. **LAMP (ランプインジケータ ライト)**
   プロジェクタのランプに問題が発生した場合に点灯または点滅します。詳細は、50 ページの " インジケータ " を参照してください。
6. **LENS SHIFT ▲ (上)**
   LENS SHIFT ▼ (下)
   リモコンの LENS および▲/▼ と同じ役割を果たします。
   モーターによる縦方向レンズシフト機能により、プロジェクタの方向に合わせてスクリーン上の画像を上下に調整します。詳細は、13 ページの " 投写レンズの縦方向シフト " を参照してください。
   オンスクリーン メニューが有効になっている場合は、選択肢を上下に移動することができます。
7. **キーストーン◗ / 左矢印◀ ボタン**
   キーストーン◖ / 右矢印▶ ボタン
   投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
   詳細は、25 ページの " 画像の歪みの補正する " を参照してください。
   オンスクリーン メニューが有効になっている場合は、選択肢を左右に移動することができます。
8. **MENU ボタン**
   リモコンの MENU ボタンと同じ役割を果たします。
   オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのオン / オフを切り替えます。詳細は、22 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
9. **POWER ボタン**
   リモコンの POWER ボタンと同じ役割を果たします。
   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。
   詳細は、20 ページの " 起動 " と 37 ページの " 終了 " を参照してください。
10. **SOURCE ボタン**
    リモコンのソース選択ボタン (COMP1,COMP2, VIDEO, HDMI 1, HDMI 2, RGB HD, S-VIDEO) と同じ役割を果たします。
    入力ソースは順番に切り替わります。
    詳細は、21 ページの " 入力ソースの選択 " を参照してください。
11. **PRESET MODE ボタン**
    選択した入力ソースによって、有効な画像設定モードを選択します。詳細は、26 ページの " プリセットモードの選択 " を参照してください。
12. **ENTER ボタン**
    選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。
13. **EXIT ボタン**
    前のオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューに戻り、行った変更内容を保存して終了します。詳細は 22 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。

リモートコントロール



1. **POWER ボタン**
スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。詳細は、20 ページの " 起動 " と 37 ページの " 終了 " を参照してください。

2. **ソース選択ボタン (COMP1, COMP2、VIDEO、HDMI 1.2, RGB HD, S-VIDEO)**
表示する入力ソースを選択します。詳細は、21 ページの " 入力ソースの選択 " を参照してください。

3. **縦横比ボタン (ANA、4:3、LB、WIDE、REAL)**
表示縦横比を選択します。詳細は、33 ページの " 縦横比の選択 " を参照してください。

4. **PRESET ボタン**
プリセットのプログラムモードを選択します。詳細は、26 ページの " プリセットモードの選択 " を参照してください。

5. **MEMORY ボタン (USER 1、USER 2/ISF NIGHT、USER 3/ISF DAY、DEFAULT)**
現在の入力ソースについて、USER 1、USER 2/ISF NIGHT、USER 3/ISF DAY、DEFAULT に保存した画像設定を使用します。詳細は、27 ページの " ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードの設定 " を参照してください。

6. **ENTER ボタン**
選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。

7. **矢印ボタン (左◄、上 ▲、右 ►、下▼)**
オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効になっているとき、現在の OSD メニューアイテムを選択した矢印の方向に移動します。詳細は、22 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
モーターによる縦方向レンズシフト機能により、プロジェクタの方向に合わせてスクリーン上の画像を上下に調整します (**上▲、下▼**)。
投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します (**左◄、右►**)。

8. **MENU ボタン**
オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのオン / オフを切り替えます。詳細は、22 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。

9. **EXIT ボタン**
前のオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューに戻り、行った変更内容を保存して終了します。詳細は、22 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。

10. **画質調整ボタン (BRIGHTNESS、COLOR、CONTRAST、TINT) :**
適切な画質に調整するための設定バーが表示されます。詳細は、28 ページの " 画質の微調整 " を参照してください。

11. **画像ウィンドウコントロールボタン (PIP、SIZE、POSITION、ACTIVE)**
PIP (Picture In Picture) ウィンドウを表示、ACTIVE ボタンでメインウィンドウとサブウィンドウを切り替え、SIZE と POSITION ボタンで現在有効なウィンドウのサイズと位置を調整します。詳細は、35 ページの " 複数の画像ソースを同時に表示する " を参照してください。

12. **LENS ボタン**
モーターによる縦レンズシフトを行うための設定ページが表示されます。詳細は、13 ページの " 投写レンズの縦方向シフト " を参照してください。

13. **IRIS ボタン**
モーターによるアパーチャレンズ IRIS の調整を行う設定バーが表示されます。詳細は、32 ページの "IRIS によりコントラストを調整する " を参照してください。

14. **LIGHT ボタン**
リモコンのバックライトを約 10 秒間オンにします。バックライトがオンになっているときに他のボタンを押すと、バックライトがさらに 10 秒間オンになります。再び LIGHT ボタンを押すとバックライトがオフになります。

プロジェクタの配置

場所の選択

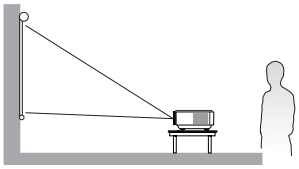
本機は次の 4 通りの設置状態で使うことができます。

1. 床面前面、
2. 天井前面、
3. 床面背面、または
4. 天井背面。

部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

1. 床面前面：

プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。

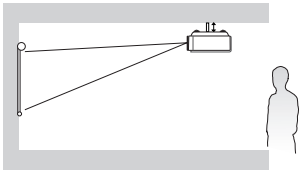


2. 天井前面：

プロジェクタをスクリーン正面の天井に取り付けます。

この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。

* プロジェクタの電源を入れてから、**天井前面**を設定してください。

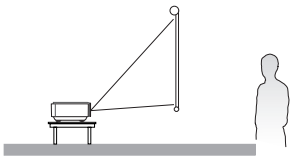


3. 床面背面：

プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。

専用の背面スクリーン投写が必要です。

* プロジェクタの電源を入れてから、**床面背面**を設定してください。

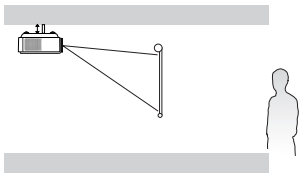


4. 天井背面：

プロジェクタをスクリーン背面の天井に取り付けます。

専用の背面投写スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。

* プロジェクタの電源を入れてから、**天井背面**を設定してください。



*** プロジェクタの位置を設定するには：**

1. プロジェクタかリモコンで MENU 押して、システム設定メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。

2. ▲/▼を押してプロジェクタの位置を選択し、位置が選択されるまで◀/▶ を押し続けてください。



スクリーンサイズの調整

投写距離、ズーム設定、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。

プロジェクタは必ず机の上などに水平に配置し、スクリーンの水平方向の中央に対して直角になるように設置してください。このように設置することによって、角度を付けて投写（または角度が付いた面に投写する場合）すると生じる画像の歪みを防止することができます。プロジェクタを天井に取り付ける場合は、上下逆さに取り付けてください。

このプロジェクタには取り外し可能なレンズが付いています。詳細は、" 投写レンズの縦方向シフト " を参照してください。レンズを上下に完全にシフトした状態で測定した縦オフセット値は、15 ページと 16 ページの表を参照してください。

プロジェクタをスクリーンから遠ざけると、投写イメージのサイズが拡大され、それに伴い縦のオフセットも広がります。

スクリーンとプロジェクタの距離を決定する際は、投写距離に直接比例する投写イメージのサイズと縦オフセットのサイズも考慮する必要があります。

16:9 と 4:3 の両サイズ用の表を用意しましたので、プロジェクタを設置する場所を決定する際参照してください。設置場所を決定するときには、スクリーン中央に対し直角の水平距離（投写距離）と、スクリーンの上下端からのプロジェクタの縦オフセットの高さ（オフセット）の 2 つのサイズを考慮してください。

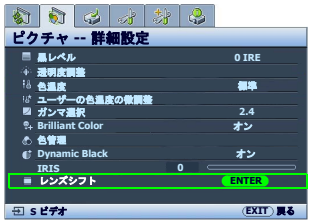
投写レンズの縦方向シフト

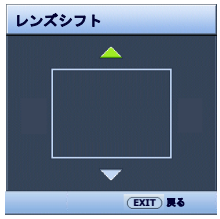
プロジェクタをより自由に取り付けられるように、縦方向レンズシフト機能が備わっています。これはプロジェクタを投写画像の上部レベルよりもやや下または上に設置できるようにする機能です。

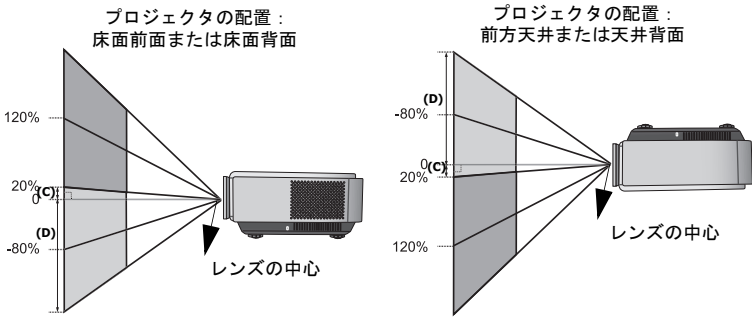
レンズシフト (オフセット) は投写画像の高さのパーセンテージにより表示されます。これは投写画像の縦中心からのオフセットとして測定されます。このプロジェクタは縦方向に + 120%、- 80% レンズをシフトさせることができます。上下方向へは、画像の位置によって可能な範囲でシフトできます。

投写レンズを縦方向に調整するには :

1. リモコンの LENS または▲/▼ (OSD メニューが有効でない場合) か、プロジェクタの LENS SHIFT ▲/▼ を押して、調整ページを表示します
   (**ピクチャ -- 詳細設定** > **レンズシフト**メニューで ENTER を押す方法もあります)。
2. 投写画像の位置を高く上げるにはリモコンの ▲ か、プロジェクタの LENS SHIFT ▲ を押してください。
   投写画像の位置を下げるにはリモコンの ▼ か、プロジェクタの LENS SHIFT ▼ を押してください。







(C) と (D) に相当する値については、15 および 16 を参照してください。

日本語

使用するスクリーンサイズに対しプロジェクタの設置場所を決定する

1. スクリーンの縦横比が 16:9 か 4:3 のどちらであるか決定します。
2. 表を参考にして、左側の " スクリーンサイズ " という欄から使用したいスクリーンサイズに最も近いものを探してください。この値の列を右に見ていくと、" 平均 " という欄に相当するスクリーンからの平均距離が記載されています。これが投写距離になります。
3. スクリーンの位置とレンズの縦方向への調整可能な範囲をもとに、プロジェクタの正確な高さを決定してください。

例えば、120 インチ、縦横比 4:3 のスクリーンをお使いになる場合は、"4:3 (標準) スクリーンサイズ表 " をご参照ください。平均投写距離は 495 cm です。

設置する距離に対し推奨するスクリーンサイズを決定する

これは、プロジェクタを設置する部屋に合ったスクリーンサイズを求めるための方法です。

最大スクリーンサイズは、使用する部屋の実際のスペースが上限となります。

1. スクリーンの縦横比が 16:9 か 4:3 のどちらであるか決定します。
2. プロジェクタとスクリーンを設置したい場所までの距離を測ってください。これが投写距離になります。
3. 表を参考にして、" 平均 " という欄からスクリーンからの平均距離に最も近い値を探してください。測定した距離が最小距離と最大距離（平均距離値の両側に表示されています）の間にあることを確認してください。
4. この値と同じ列を左へ見ていくと、相当するスクリーンサイズを見つけることができます。これが投写距離からの投写画像サイズになります。

例えば、縦横比 16:9 のスクリーンを使用し、測定した投写距離が 4.5m (450cm) であった場合は、"16:9 (ワイドスクリーン) スクリーンサイズ表 " を参照してください。" 平均 " 欄で最も近い値は 449cm です。同じ列を見ると、100 インチが必要なスクリーンであることが分かります。

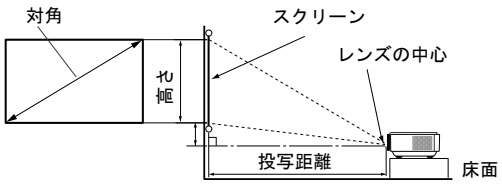
プロジェクタを別の場所に移動させると（推奨される範囲内で）、スクリーンの中央に画像が表示されるようにプロジェクタを上下に傾ける必要があります。そうすると、画像に歪みが生じる場合があります。この場合は、キーストーン機能を使用して歪みを補正します。詳細は、25 ページの " 画像の歪みの補正する " を参照してください。

投写サイズ

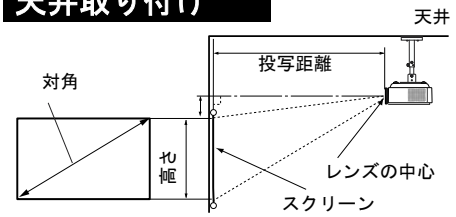
適切な位置を計算する前に、52 ページの " 外形寸法 " を参照して、このプロジェクタのレンズサイズの中心を求めてください。

16:9 スクリーンを使用する場合の設置

床取り付け



天井取り付け



16:9 (ワイドスクリーン) スクリーンサイズ表

スクリーンサイズ			投写距離 (cm)			オフセット	
対角 (インチ)	高さ (cm)	幅 (cm)	最短距離 (最大ズームにて)	平均	最長距離 (最小ズームにて)	レンズの最高位置 (cm) (C)*	レンズの最低位置 (cm) (D)*
41	51	91	167	184	201	5	-46
50	62	111	204	225	245	6	-56
60	75	133	245	270	294	7	-67
70	87	155	286	315	343	9	-78
80	100	177	327	360	392	10	-90
90	112	199	367	404	441	11	-101
100	125	221	408	449	490	12	-112
110	137	244	449	494	539	14	-123
120	149	266	490	539	588	15	-134
130	162	288	531	584	637	16	-146
140	174	310	571	629	686	17	-157
150	187	332	612	674	735	19	-168
160	199	354	653	719	784	20	-179
170	212	376	694	764	833	21	-191
180	224	398	735	809	882	22	-202
190	237	421	776	854	931	24	-213
200	249	443	816	898	980	25	-224
250	311	553	1020	1122	1224	31	-280
300	374	664	1224	1347	1469	37	-336

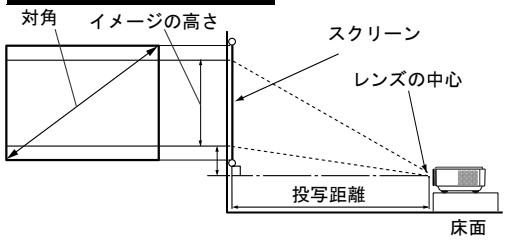
☞ * (C) と (D) の範囲については、13 ページの " 投写レンズの縦方向シフト " の図を参照してください。

これらの数値は実際の値とは若干の誤差があるかもしれません。推奨するスクリーンサイズのみ表示してあります。スクリーンサイズが上記の表に記載されていない場合は、BenQ 販売店へお問い合わせください。

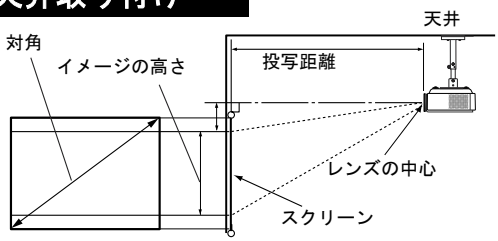
4:3 スクリーンを使用する場合の設置

下の図と表は縦横比 4:3 のスクリーンをお持ちの方、または 4:3 スクリーンを使って縦横比 16:9 の画像を投写したい方のために提供されています。

床取り付け



天井取り付け



4:3 (標準) スクリーンサイズ表

スクリーンサイズ			投写距離 (cm)			オフセット		
対角 (インチ)	高さ (cm)	幅 (cm)	最短距離 (最大ズームにて)	平均	最長距離 (最小ズームにて)	レンズの最高位置 (cm) (C)*	レンズの最低位置 (cm) (D)*	イメージの高さ (cm)
41	62	83	154	169	184	5	-42	47
50	76	102	187	206	225	6	-51	57
60	91	122	225	248	270	7	-62	69
70	107	142	262	289	315	8	-72	80
80	122	163	300	330	360	9	-82	91
90	137	183	337	371	405	10	-93	103
100	152	203	375	413	450	11	-103	114
110	168	224	412	454	495	13	-113	126
120	183	244	450	495	539	14	-123	137
130	198	264	487	536	584	15	-134	149
140	213	284	525	577	629	16	-144	160
150	229	305	562	618	674	17	-154	171
160	244	325	599	659	719	18	-165	183
170	259	345	637	701	764	19	-175	194
180	274	366	674	742	809	21	-185	206
190	290	386	712	783	854	22	-195	217
200	305	406	749	824	899	23	-206	229
250	381	508	937	1031	1124	29	-257	286
300	457	610	1124	1237	1349	34	-309	343

☞ * (C) と (D) の範囲については、13 ページの " 投写レンズの縦方向シフト " の図を参照してください。

これらの数値は実際の値とは若干の誤差があるかもしれません。推奨するスクリーンサイズのみ表示してあります。スクリーンサイズが上記の表に記載されていない場合は、BenQ 販売店へお問い合わせください。

ビデオ装置の接続

プロジェクタは VCR、DVD プレーヤー、デジタルチューナー、ケーブルボックスまたは衛星デコーダー、ビデオゲームコンソール、デジタルカメラなど、あらゆる種類のビデオ装置と接続できます。またデスクトップ PC やラップトップ PC、アップルマッキントッシュ機との接続も可能です。ただし、内蔵スピーカーは備わっておりませんので、オーディオ装置を接続することはできません。

別のケーブルを使用すると、プロジェクタと複数のビデオ装置を同時に接続することができます。ユーザーがすべきことは、プロジェクタに合った適切な入力を選択することだけです。

最高のビデオ品質

最高の品質を実現する接続方法は HDMI です。HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は DTV チューナー、DVD プレーヤーなど互換性のある装置と未圧縮ビデオデータの転送を行い、１本のケーブルでデータを見られるようにします。この方式を使用すると、非常に優れたデジタル映像とオーディオをお楽しみいただけます。

プロジェクタと HDMI 装置の接続方法については、18 ページの "HDMI デバイスの接続 " を参照してください。

RGBHV も赤、緑、青、横、縦同期信号を独自のコンダクタに別々に転送して高品質ビデオを提供します。

プロジェクタと RGBHV 装置の接続方法については、18 ページの "RGBHV デバイスの接続 " を参照してください。

その次に最高のビデオ信号を提供するのは、コンポーネントビデオです (コンポジットビデオを混同しないようにしてください)。デジタル TV チューナーや DVD プレーヤーはコンポーネントビデオを出力しますので、使用できるならばこの方法で接続してください。

プロジェクタとコンポーネントビデオ装置の接続方法については、18 ページの " コンポーネントビデオ機器との接続 " を参照してください。

良好なビデオ品質

S ビデオは標準のコンポジットビデオよりも品質が良いアナログビデオを再現します。ビデオソース装置にコンポジットビデオと S ビデオの両出力端末が付いている場合は、S ビデオを選択してください。

標準ビデオ品質

コンポジットビデオはアナログビデオであり、見るだけなら十分です。ただしプロジェクタから投写される結果は最適値以下であり、ここで記載した方法の中では最も品質が低い方法です。

プロジェクタと S ビデオまたはコンポジットビデオ装置の接続方法については、19 ページの "S ビデオまたはビデオ装置の接続 " を参照してください。

準備

信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点を確認してください。

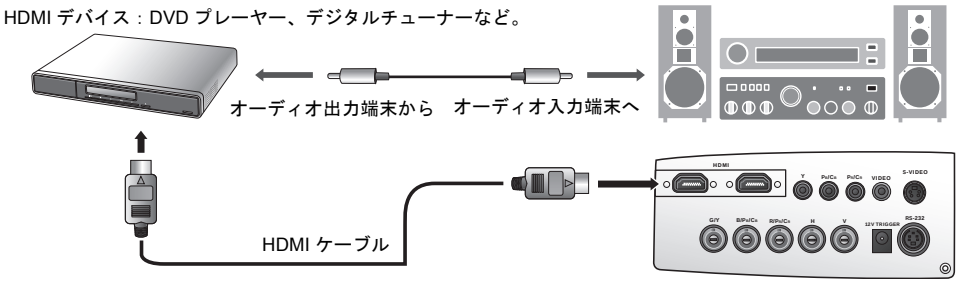
1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに合った、正しい種類のプラグが付いたケーブルのみご使用ください。
3. ケーブルのプラグがすべて装置のソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。

☞ **プロジェクタによっては、次の接続図に示すすべてのケーブルが同梱されていない場合があります (パッケージ内容については、6 ページの " パッケージ内容 " を参照してください)。ほとんどのケーブルは電気店でお買い求めいただけます。**

日本語

HDMI デバイスの接続

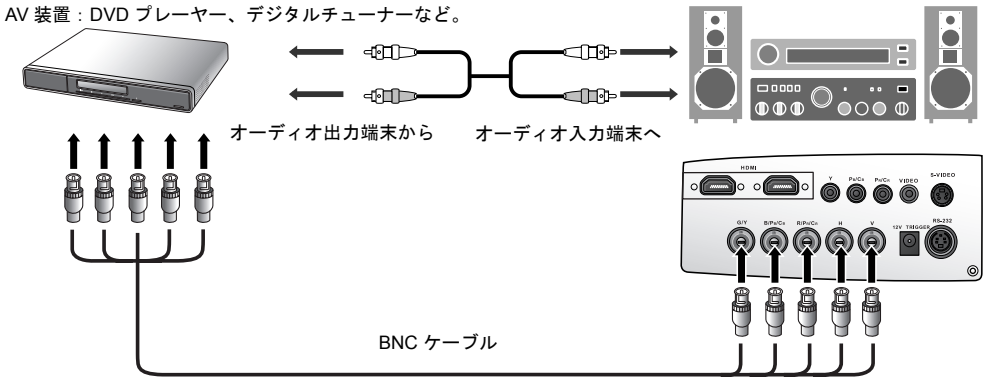
プロジェクタと HDMI デバイスを接続する場合は、必ず HDMI ケーブルをお使いください。



別途オーディオケーブルを適切なオーディオアンプに接続する必要があります。

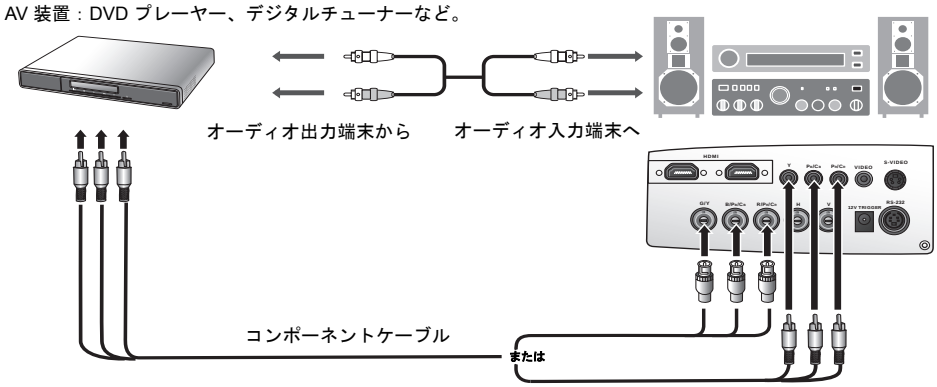
RGBHV デバイスの接続

接続には BNC オスコネクタ 5 個が付いた RGBHV ビデオケーブルをお使いください。ケーブルと端末の色は必ず同じなければなりません。



コンポーネントビデオ機器との接続

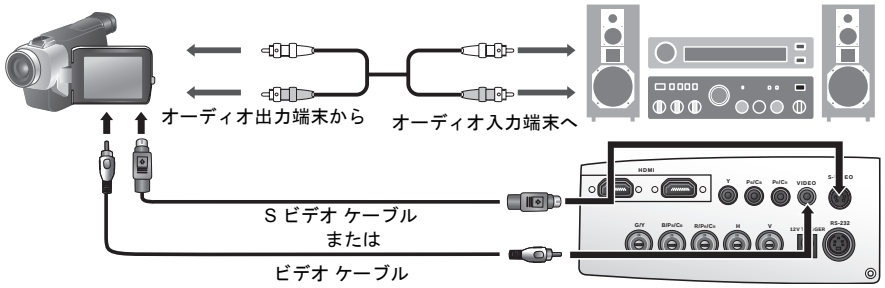
ケーブルと端末の色は必ず同じなければなりません。



ビデオ出力装置を接続するために、RCA タイプのコンポーネントビデオ ソケットが備えられています。BNC タイプのコンポーネントビデオ ケーブルをお持ちであれば、代わりに BNC コンポーネントビデオ ソケットに接続することができます。

別途オーディオケーブルを適切なオーディオアンプに接続する必要があります。

S ビデオまたはビデオ装置の接続

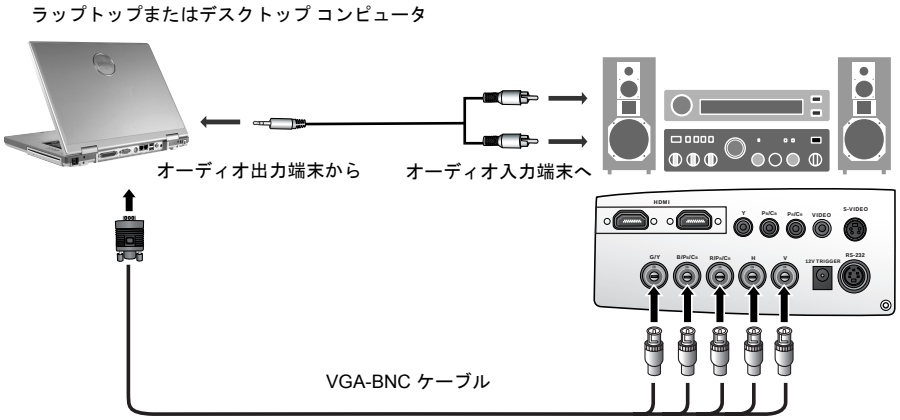


同一ビデオソース装置から S ビデオケーブルとコンポジットビデオケーブルの両方を同時に接続しないでください。別途オーディオケーブルを適切なオーディオアンプに接続する必要があります。

☞ **コンポーネントビデオ接続方式によりプロジェクタとビデオソース装置をすでに接続してある場合は、S ビデオまたはコンポジットビデオ接続方式でこの装置を接続すると不要に 2 つ目の接続が生じ、画質が悪くなるため、この装置を接続する必要はありません。コンポーネントビデオと S ビデオの両方がビデオソース装置にない場合 (アナログビデオカメラなど) に限り、コンポジットビデオ接続を行う必要があります。**

コンピュータの接続

VGA-BNC ケーブルを使ってプロジェクタとコンピュータを接続します。



☞ **電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**

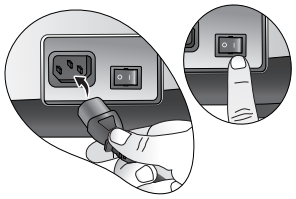
多くのラップトップでは、プロジェクタを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常 FN + F3 や CRT/LCD キーなどを使用すると、外部表示のオン / オフを切り替えることができます。ラップトップ上で CRT/LCD と記された機能キーか、モニタの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。FN と記号が記された機能キーを同時に押します。ラップトップのキーの組み合わせについては、ラップトップの説明書をお読みください。

日本語

プロジェクタの使用方法

準備

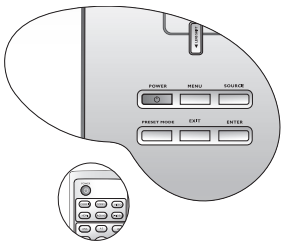
1. プラグを電源に接続し、接続されている装置をすべてオンにしてください。
2. まだ電源に接続されていない場合は、同梱されている電源ケーブルをプロジェクタの背面にある AC コネクタに挿入し、AC 電源をオンにします。
3. 電源コードをコンセントに差し込んで、壁のスイッチをオンにします。



起動

次の手順にしたがってください。

1. メインの AC 電源をオンにした後、電源ライトがオレンジ色に点灯していることを確認します。
2. プロジェクタまたはリモコンの POWER ([⏻]) ボタンを数秒間押し続けるとプロジェクタがオンになります。
3. ファンが作動を開始し、ウォームアップする間スクリーン上に数秒間スタートアップ画像が表示されます。
4. パスワードの入力を求められた場合は、矢印キーを使って 6 桁のパスワードを入力してください。詳細は、23 ページの " パスワード機能の使い方 " を参照してください。
5. プロジェクタが入力信号を認識するまで、「ソース検索中というメッセージが表示されます。このメッセージは有効な信号が検出されるまで表示され続けます。詳細は、21 ページの " 入力ソースの選択 " を参照してください。
6. 入力信号の水平周波数がプロジェクタの範囲を超えると、「範囲外」というメッセージが表示されます。このメッセージは、入力信号を適切なソースに変更するまで表示され続けます。



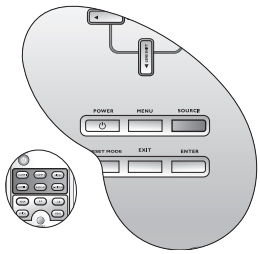
ウォームアップ中はプロジェクタはいかなるコマンドにも応答しません。

日本語

入力ソースの選択

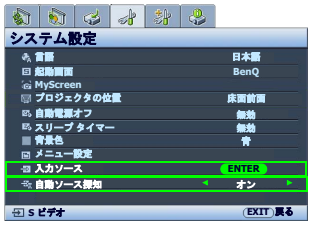
このプロジェクタは同時に複数の装置と接続することができます。プロジェクタをオンにすると、プロジェクタを最後にシャットダウンしたときに使用されていた入力ソースに接続しようとします。

ビデオソースを選択するには：



- **リモコンまたはプロジェクタの使い方**

リモコンのソースボタンの 1 つか、プロジェクタの **SOURCE** を押して任意の信号を選択します。HDMI 1 と HDMI 2 間を切り換えるには、再度 **HDMI 1.2** を押してください。



- **OSD メニューの使用方法**

1. **MENU** を押して、**システム設定**メニューが表示されるまで◀/▶を押してください。
2. ▼ を押して**入力ソース**を選択し、次に **ENTER** を押してください。するとソース選択バーが表示されます。
3. 任意の信号が選択されるまで ▲/▼ を押し、次に **ENTER** を押します。信号が検出されると、選択したソースの情報が数秒間スクリーン上に表示されます。プロジェクタに複数の装置が接続されている場合は、ソース選択バーに戻り別の信号を検出することができます。



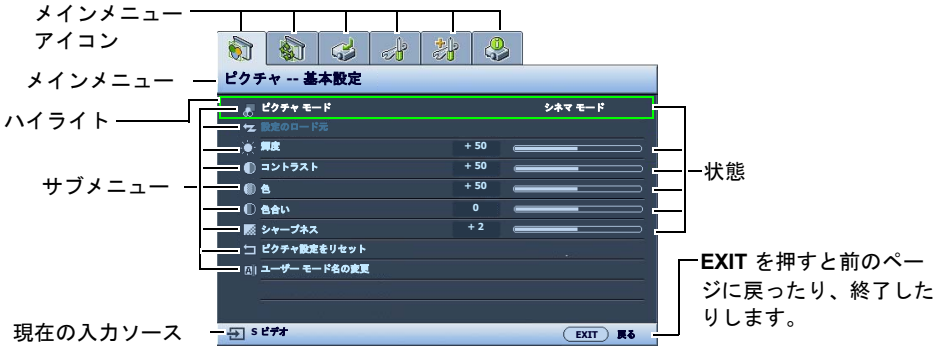
- プロジェクタに信号を自動検出させたい場合は、**システム設定** > **自動ソース探知**メニューで**オン**を選択します。
- PIP 機能を使用する方法については、35 ページの " 複数の画像ソースを同時に表示する " を参照してください。

日本語

メニューの使用方法

プロジェクタは、多国語対応のオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

以下に OSD メニューの概要を紹介します。

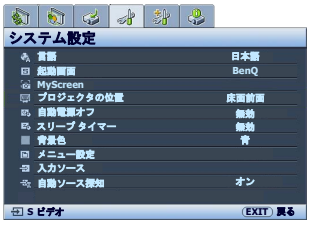


OSD メニューを使用するには、まず OSD メニューの言語を選択してください。

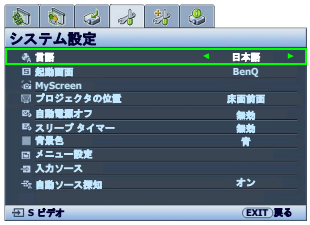
1. プロジェクタかリモコンの MENU を押して、OSD メニューをオンにします。



2. ◀/▶ を使って**システム設定**メニューを選択します。



3. ▼ を押して **言語**を選択し、その後で ◀/▶ を押して言語を選択します。



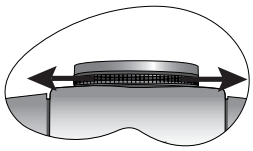
4. プロジェクタかリモコンの MENU を 1 回押すか、EXIT を 2 回押して *、設定を保存し、終了します。

***1 回目にはメインメニューに戻り、2 回目に OSD メニューが閉じます。**

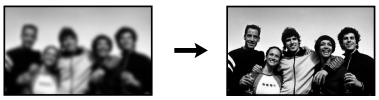
画像サイズと明瞭さの微調整

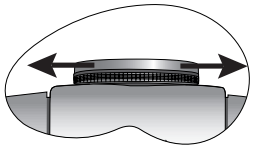
1. 投写画像のサイズを調整するには、ズーム リングを使用します。





2. 次にピントリングを回して焦点を合わせます。





プロジェクタの保護

セキュリティケーブルロックの使い方

盗難防止のために、プロジェクタは安全な場所に設置してください。あるいはケンジントンロックなどのロックを購入し、プロジェクタを保護してください。ケンジントンロック スロットはプロジェクタの背面にあります。詳細は、8 ページの 12 をご覧ください。

ケンジントンケーブルロックは通常キーとロックを組み合わせたものです。ご使用方法については、ロックの説明書を参照してください。

パスワード機能の使い方

セキュリティのため、および許可されていないユーザーがプロジェクタを勝手に使用できないように、このプロジェクタにはパスワードを設定することができます。パスワードはオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで設定します。パスワードを設定し、この機能を選択すると、プロジェクタはパスワードで保護された状態になります。正しいパスワードを知らないユーザーはプロジェクタを操作することができません。

⚠ **パスワード機能を有効にしたにも関わらず、パスワードを忘れてしまうと面倒なことになります。（必要であれば）本書を印刷し、設定したパスワードを本書に書き留めておき、安全な場所に保管しておいてください。**

パスワードの設定

☞ **一度パスワードを設定して有効にすると、プロジェクタを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクタを使用することはできなくなります。**

1. プロジェクタかリモコンで MENU 押して、**詳細セットアップ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。
2. ▼ を押して**パスワード**を選択し、次に ENTER を押してください。すると **パスワード** ページが表示されます。
3. **パスワード**を選択し、◀/▶ を押して、**オン**を選択してください。すると **パスワードの入力** ページが表示されます。
4. 図に示す通り、4 つの矢印キー (▲、▶、▼、◀) はそれぞれ 4 つの数字 (1、2、3、4) を示しています。リモコンかプロジェクタの矢印キーを使って、6 桁のパスワードを設定してください。パスワードが設定されると、OSD メニューは**パスワード**ページに戻ります。

   重要：入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。

   パスワード：＿＿＿＿＿＿
   本書は安全な場所に保管しておいてください。

5. OSD メニューを終了するには、MENU を押します。







パスワードを忘れた場合

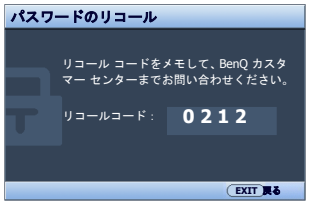
パスワード機能が有効になっているときには、プロジェクタを起動すると毎回 6 桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなエラーメッセージが 3 秒間表示され、その後**パスワードの入力**ページに入ります。別の 6 桁のパスワード上を押してもう一度やり直してください。またはパスワード忘れてしまい、さらに本書にパスワードを記録しておかなかった場合は、パスワードの呼び戻し手続きを行ってください。詳細は、24 ページの " パスワードの呼び戻しを行うには " を参照してください。



パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクタは間もなく自動的にシャットダウンします。

日本語

パスワードの呼び戻しを行うには



1. プロジェクタかリモコンの PRESET MODE を 3 秒間押します。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
2. 番号を書き留めて、プロジェクタをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、お近くの BenQ サービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクタを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。

パスワードの変更

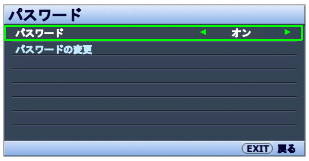
1. プロジェクタかリモコンで MENU 押して、**詳細セットアップ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。
2. ▲/▼ を押して、**パスワード**を選択し、次に ENTER を押してください。すると **パスワード** ページが表示されます。
3. **パスワードの変更**を選択し、ENTER を押します。すると **現在のパスワードの入力** ページが表示されます。
4. 古いパスワードを入力してください。
   - パスワードが正しく入力されると、「**新しいパスワードの入力**」というメッセージが表示されます。
   - パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが 3 秒間表示され、「**現在のパスワードの入力**」というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、MENU を押してください。
5. 新しいパスワードを入力します。

   重要：入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。

   パスワード：＿＿＿＿＿＿
   本書は安全な場所に保管しておいてください。
6. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
7. プロジェクタに新しいパスワードが割り当てられました。次回プロジェクタを起動したときには、必ず新しいパスワードを入力してください。
8. OSD メニューを終了するには、MENU を押します。



パスワード機能を無効にする



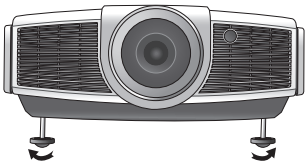
パスワード機能を無効にするには、**詳細セットアップ** > **パスワード** > **パスワード**メニューに戻ってください。**パスワード**を選択し、◀ /▶ **を押して オフ**を選択してください。すると「**パスワードの入力**」というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。

- パスワードが正しければ、OSD メニューの**パスワード**ページで「パスワード」の欄が**オフ**の状態で表示されます。次回プロジェクタをオンにするときには、パスワードを入力する必要はありません。
- パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが 3 秒間表示され、「**パスワードの入力**」というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、MENU を押してください。

パスワード機能を無効にしても、再びパスワード機能を有効にするときに古いパスワードを入力するよう要求されますので、古いパスワードは忘れないように記録し保管しておいてください。

投写イメージの調整

投写角度の調整



プロジェクタの底面には 4 個のアジャスタフットが備え付けられています。これらは投写角度を変更する必要がある場合に使用します。適切な角度になるようにフットを調整してください。

☞ **スクリーンとプロジェクタが互いに垂直でない場合、投写イメージは縦方向に台形になります。このような問題を補正する方法については、25 ページの " 画像の歪みの補正する " を参照してください。**

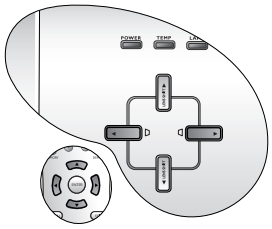
画像の歪みの補正する

キーストーンはプロジェクタがスクリーンに対して垂直に設置されていないため、投写画像が次のいずれかのように台形状に表示されるときに発生します。

- 2 つの平行する辺 (左と右、または上と下) が、片方がもう片方よりも明らかに長い。
- 辺が平行になっていない。

画像の形状を補正するには、次の手順にしたがってください。

1. 投写角度を調整してください。プロジェクタをスクリーンの手前中央に配置し、レンズの下側をスクリーンの上端または下端に合わせてください。
2. それでも画像が歪んでいる場合、あるいはプロジェクタを上記のように設置できない場合は、手動で補正する必要があります。



- **リモコンまたはプロジェクタの使い方**
  - i. リモコンの矢印キーの 1 つ (◀, ▶) か、プロジェクタの (▷/◀ , ◁/▶) を押すと、**キーストーン**ページが表示されます。
  - ii. 詳しい操作方法については、iv ステップを参照してください。
- **OSD メニューの使用方法**
  - i. MENU を押して、**ディスプレイ**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
  - ii. ▼ を押して**キーストーン**を選択し、次に ENTER を押してください。すると **キーストーン**ページが表示されます。
  - iii. **2D キーストーン**を選択し、ENTER を押します。するとキーストーン補正ページが表示されます。
  - iv. 投写画像の形状に似たキーストーンアイコンが示されたキーを押します。形状が正しく表示されるまでそのキーを続けて押すか、他のキーを押してください。
    キーを押す度に、ページ下の値が変わります。キーを繰り替えし押すうちに、その最高値または最低値に達すると、画像の形状が変化しなくなります。それ以上はその方向に変更を加えることはできません。







平行になっている



▲ を押します。 **▼ を押します。**

辺が平行になっていない



1. ▶ を押します。 **2. ▼を押します。**

日本語

プリセットとユーザーモードの使い方

プリセットモードの選択

このプロジェクタは操作環境や入力ソースの画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードが設定されています。

必要に合ったピクチャモードを選択するには：



- **リモコンの使用方法**

1. 任意のモードが選択されるまで、PRESET を繰り返し押すか、リモコンの USER 1、USER 2/ISF NIGHT、USER 3/ISF DAY または、プロジェクタの PRESET MODE を押します。

- **OSD メニューの使用方法**

1. MENU を押して、**ピクチャ -- 基本設定**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して、**ピクチャ モード**を選択します。
3. 任意のモードが選択されるまで、◀/▶ を押してください。

これらのモードには次に説明する通り、各投写状況に合わせて値がプリセットされています。

- **シネマ モード**: 彩度とコントラストは最適なバランスが得られますが、明度は低くなります。この設定は、全くの暗室（例：映画館）でムービーを楽しむのに適しています。
- **ダイナミック**：イメージの輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクタを明るい部屋で使用する場合など）。
- **標準**：**シネマ モード**モードよりも若干明るく、照明が暗い室内での使用に適しています。
- **ユーザー1/ ユーザー2/ ユーザー3**: カスタム設定を呼び出します。詳細は、27 ページの " ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードの設定 " を参照してください。

選択したピクチャモードの微調整

あらかじめ定義していおいたピクチャモードの設定は、**ピクチャ -- 基本設定**および**ピクチャ -- 詳細設定**メニューに表示される有効なアイテムから変更することができます。

ピクチャモードの微調整：

1. MENU を押して、**ピクチャ -- 基本設定**か**ピクチャ -- 詳細設定**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して調整したいアイテムを選択し**輝度、コントラスト、色、色合い**，**シャープネス、黒レベル**，**透明度調整、色温度、ガンマ選択**、Brilliant Color、**色管理**、IRIS の中から）、◀/▶ を押して値を設定してください。選択したアイテムはプロジェクタに自動的に保存され、その入力ソースに関連付けられます。

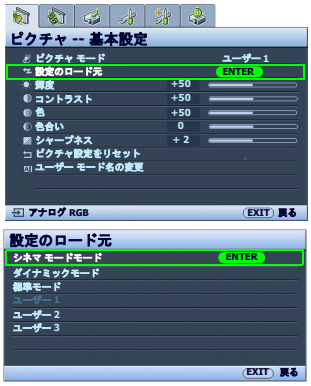
   詳細は、28 ページの " 画質の微調整 " と 29 ページの " 画質の詳細設定 " を参照してください。

ピクチャモードを変更する度に、そのピクチャモードに最後に設定された値に変更されます。入力ソースを変更すると、その入力と解像度の最後に使用したピクチャモードと設定が読み込まれます。

日本語

ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードの設定

現在有効な画像モードがニーズに合わない場合は、3 つのユーザー設定モードを使用することができます。ピクチャモードの 1 つ (選択したユーザーモードを除く) を参照点として、設定をカスタマイズすることができます。



1. **ピクチャ -- 基本設定** メニューで**ピクチャ モード**を選択し、◀/▶ を押して、**ユーザー 1**、**ユーザー 2**、**ユーザー 3** モードのいずれかを選択します。
2. ▼ を押して、**設定のロード元**を選択します。

   ☞ **この機能は、ピクチャ モードサブメニューアイテムでユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3 のいずれかのモードが選択されていなければ使用できません。**

3. ENTER を押すと**設定のロード元**ページが表示されます。
4. ▼ を押してニーズに最も合ったピクチャモードを選択し、ENTER を押した後で EXIT を押してください。
5. ▼ を押して変更したいサブメニューアイテムを選択し、◀/▶ を使って値を調整します。詳細は、28 ページの " 画質の微調整 " と 29 ページの " 画質の詳細設定 " を参照してください。
6. すべての設定が完了したら、MENU を押して設定を保存し、終了してください。

ユーザーモードの名前変更

ユーザー 1、**ユーザー 2**、**ユーザー 3** の名前をこのプロジェクタを使用する人が分かりやすい名前に変更することができます。新しい名前はアルファベット (A-Z、a-z)、数字 (0-9)、およびスペース (_) を使って 12 文字以内で指定することができます。

ユーザーモードの名前を変更するには :

1. **ピクチャ -- 基本設定**メニューで**ユーザー モード名の変更**を選択し、ENTER を押すと **ユーザー モード名の変更**ページが開きます。
2. ▲/▼ を押して名前を変更したいアイテムを選択し、ENTER を押してください。白いボックスに最初の文字がハイライト表示されます。
3. ▲/▼ を押して最初の文字を選択します。
4. ▶ を押して新しい名前を指定し、完了したら ENTER を押して新しい名前を確認してください。
5. 他の名前も変更したい場合は、2-4 を繰り返します。

ピクチャモードのリセット

ピクチャ -- 基本設定と**ピクチャ -- 詳細設定**メニューで行った変更内容はすべて、**リセット**を選択することによって工場出荷時の値に戻すことができます。

ピクチャモードをプリセットの工場出荷時の値に戻すには :

1. **ピクチャ -- 基本設定** メニューで **ピクチャ モード** を選択し、◀/▶ を押してリセットしたいピクチャモード **ユーザー 1**, **ユーザー 2**, **ユーザー 3** を含みます) を選択します。
2. ▼ を押して、**ピクチャ設定をリセット**を選択し、次に ENTER を押してください。確認のメッセージが表示されます。
3. ◀/▶ を押して、**リセット**を選択し、次に ENTER を押してください。するとピクチャモードが工場出荷時の設定に戻ります。
4. 他のピクチャモードもリセットしたい場合は、1-3 を繰り返します。

☞ **ここでの ピクチャ設定をリセット機能と、詳細セットアップメニューの全設定をリセットを混同しないでください。全設定をリセット機能はシステム全体のほぼすべての工場設定値を元に戻します。詳細は、43 ページの " 全設定をリセット " を参照してください。**

日本語

画質の微調整

どのようなピクチャモードが選択されていても、プレゼンテーションの目的に合うようにこれらの設定を細かく調整することができます。これらの調整内容は、OSD メニューを終了するときに選択中のプリセットモードに保存されます。

調整輝度

ピクチャ -- 基本設定メニューで **輝度**を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。



値を高くするほど画像が明るくなります。値を小さくするほど画像は暗くなります。このコントロールを調整すると、画像の黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。

調整コントラスト

ピクチャ -- 基本設定メニューで **コントラスト**を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。



値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて**輝度**を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。

調整色

ピクチャ -- 基本設定 メニューで**色** を選択し、プロジェクタかリモコンで◀/ ▶ を押して値を調整します。

設定値を低くすると色の飽和レベルが低くなり、最低値に設定するとモノクロ画像になります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。

調整色合い

色合いを選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。

値を高くするほど赤みがかった画像になります。値を低くするほど緑がかった画像になります。

調整シャープネス

シャープネスを選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/ ▶ を押して値を調整します。



値を高くするほど画像がシャープになります。値を低くするほど画像が柔らかくなります。

輝度 , **色** , **コントラスト** , **色合い**などの機能は、リモコンの BRIGHTNESS, COLOR, CONTRAST, TINT を押して調整バーを表示し、次に ◀/▶ を押して値を調整することもできます。

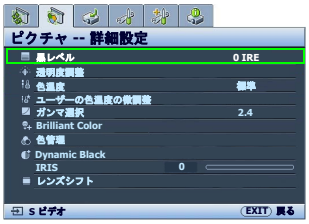


日本語

画質の詳細設定

ピクチャ -- 詳細設定メニューには、設定をより細かく設定できるオプションがあります。設定を保存するには、**MENU** を押して OSD メニューを終了してください。

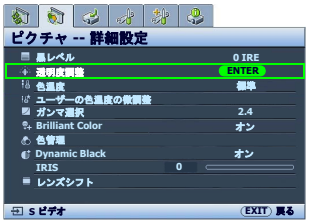
設定黒レベル

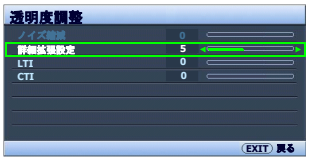


黒レベルを選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して **0 IRE** か **7.5 IRE** を選択します。

グレイスケールのビデオ信号は IRE ユニットで測定されます。NTSC TV 規格を使用するエリアでは、グレイスケールを 7.5 IRE (黒) から 100 IRE(白) で測定する場合がありますが、PAL 規格を使用するエリアや、日本の NTSC 規格を使用するエリアでは、グレイスケールは 0 IRE (黒) から 100 IRE (白) で測定します。入力ソースが 0 IRE または 7.5 IRE のどちらを使用するかを確認した上で、正しい選択を行ってください。

画像の透明度を調整する



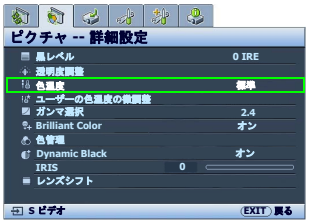


投写画像にノイズが走る場合があります。

画質をより高くするには：

1. **透明度調整**を選択し、プロジェクタかリモコンで **ENTER** を押し、**透明度調整**ページを開きます。
2. ▲/▼ を押して調整したいアイテムを選択し、◀/▶ を押して任意の値に設定します。
   - **ノイズ縮減** : メディアプレーヤーによって生じる画像の電子ノイズを縮減します。値を高くするほどノイズが少なくなります。
   - **詳細拡張設定** : 画像をシャープにします。値を高くするほど、画像の詳細がよりはっきりとします。
   - **LTI** (Luminance Transmission Improvement) ：画像の輝度を強調します。値を高くするほど、効果が高くなります。
   - **CTI** (Chroma Transmission Improvement)：色のぼかしを縮減します。値を高くするほど、効果が高くなります。

色温度の選択 *



色温度を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。

いくつかの色温度設定が使用できます。

1. **ランプ ネイティブ :** 色温度はランプの元の状態のまま、輝度は高くなります。この設定は、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクタを明るい部屋で使用する場合など）。
2. **高い :** 画像を赤みがかった白で表示します。
3. **標準 :** 白の色合いを通常に保ちます。
4. **低い :** 画像を青みがかった白で表示します。
5. **ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3: ユーザーの色温度の微調整**メニューでカスタマイズした設定を呼び出します。詳細は、30 ページの " 色温度の設定 " を参照してください。

*** 色温度について：**

用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。

色温度の設定

任意の色温度を設定するには :



1. **色温度**を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押してし、**ユーザー 1**、**ユーザー 2**、**ユーザー 3** を選択します。
2. ▼ を押して**ユーザーの色温度の微調整**を選択し、次に ENTER を押してください。すると **ユーザーの色温度の微調整**ページが表示されます。

   ☞ **メニュー名 「ユーザー _」は 色温度で選択した設定に相当します。**

3. ▲/▼ を押して変更したいアイテムを選択し、◀ /▶ を押して値を調整します。
   - **赤を強調** / **緑を強調** / **青を強調** : 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。
   - **赤オフセット** / **緑オフセット** / **青オフセット** : 赤、緑、青の明るさのレベルを調整します。
4. 設定を保存して終了するには、MENU を 1 回押すか、EXIT を 2 回押してください。

色管理

教室、会議室、ラウンジなど照明が常にオンになっている場所や、外窓から日光が差し込む部屋など、ほとんどの状況では色管理は必要ありません。

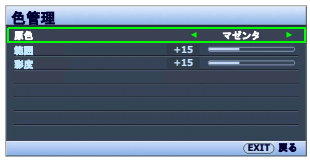
重役会議室、レクチャシアター、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、色管理が必要となります。

適切な色管理は、操作および管理された状況でのみ行うことができます。この場合、色を測定するために色彩計を使用する必要があり、いくつかの適切なソース画像が必要です。これらのツールはプロジェクタには付いていませんが、販売店や経験豊富な技術者にお尋ねになると入手できるはずです。

色管理 では、6 セット (RGBCMY) の色を気に入った色に調整することができます。各色を選択すると、その色範囲と彩度を個別に調整することができます。

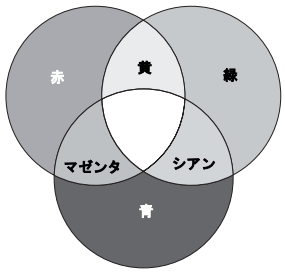
設定を調整して保存するには :





1. **ピクチャ -- 詳細設定**メニューで **色管理**を選択して ENTER を押します。すると **色管理** ページが表示されます。
2. **原色**を選択し、◀/▶ を押して **赤**、**黄**、**緑**、**シアン**、**青** , **マゼンタ** の中から色を選択します。
3. ▼ を押して、**範囲**を選択し、◀ /▶ を押して調整したい色範囲を選択します。範囲を広くするほど、2 色の隣り合う色に含まれる色域が広くなります。

   各色がどのように関連し合っているかについては、右図を参照してください。例えば、**赤**を選択し、その範囲を 0 に設定すると、純粋な赤しか選択されます。その範囲を広げると、黄色に近い赤とマゼンタに近い赤の両方が含まれます。



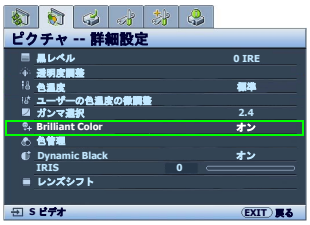
4. ▼ を押して**彩度**を選択し、◀ /▶ を押して彩度レベルを調整します。
   赤を選択し、その範囲を 0 に設定すると、純粋な赤の彩度しか影響を受けません。

   ☞ **彩度とはビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。0 に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。**

5. 設定を保存して終了するには、MENU を 1 回押すか、EXIT を 2 回押してください。

調整 Brilliant Color

この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。**オフ**に設定すると、鮮明な色は無効になります。



ガンマ設定の選択

ガンマ選択を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。



ガンマとは、入力ソースと画像の輝度の関連性のことです。

- ガンマ 2.2

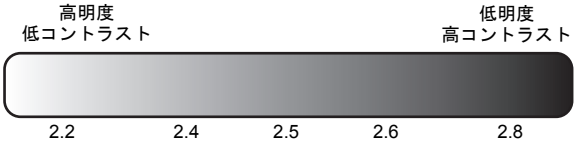
  画像の輝度を上げます。明るい環境、会議室、リビングルームに最適です。

- ガンマ 2.4/2.5

  暗室でムービーを鑑賞するのに最適です。

- ガンマ 2.6/2.8

  ほとんどが暗いシーンで構成される映画を鑑賞するのに適しています。



日本語

IRIS によりコントラストを調整する

コントラスト値は、ディスプレイが表示できる最も明るい白と最も暗い黒の差によって測定されます。このプロジェクタは、低コントラストしか持たないプロジェクタでは表示できない微妙な色の詳細も再現できる高コントラストを実現します。色の詳細に影響を与え得る室内の照明レベルによって、コントラスト値を調整することができます。コントラスト比を調整する前に、**ピクチャ -- 詳細設定**メニューで Dynamic Black が「**オン**」になっていることを確認してください。

手動でコントラストを調整するには

- **リモコンの使用方法**

1. IRIS を押します。すると調整バーが表示されます。
2. ◀ を押すとコントラスト値は低く輝度は高くなり、▶ を押すとコントラスト値は高く輝度は低くなります。

- **OSD メニューの使用方法**

1. MENU を押して、**ピクチャ -- 詳細設定**メニューが表示されるまで◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して、IRIS を選択します。
3. ◀ を押すとコントラスト値は低く輝度は高くなり、▶ を押すとコントラスト値は高く輝度は低くなります。



縦横比の選択

縦横比とは、イメージの幅と高さの比率のことです。デジタル TV は通常縦横比 16:9 です。これはこのプロジェクタのデフォルト値に設定されています。またアナログ TV と DVD は 4:3 です。

デジタル信号処理能力が進化するにつれ、このプロジェクタのようなデジタルディスプレイ装置はイメージ出力をイメージ入力ソースとは異なるアスペクトにまで拡張できるようになりました。画像全体が均等に引き伸ばされるように画像はリニア方式で引き伸ばすことができます。非リニア式を使用すると、画像が歪みます。

投写画像の比率を変更する (ソースの縦横比に関係なく) :

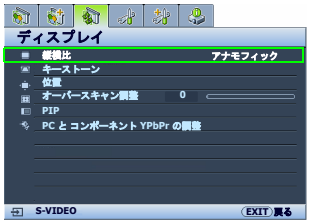


- **リモコンの使用方法**

ビデオ信号のフォーマットとディスプレイの条件に合わせて適切な縦横比のボタンを押してください。

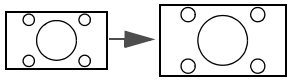
- **OSD メニューの使用方法**

1. MENU を押して、**ディスプレイ**メニューが表示されるまで◀/▶を押してください。
2. ▼ を押して、**縦横比**を選択します。
3. ◀/▶ を押して、ビデオ信号のフォーマットとディスプレイの条件に合わせて適切な縦横比を選択してください。



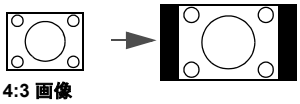
縦横比について

1. **アナモフィック** (**ANA**): スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦と横のサイズを別々に処理することを除き、画像をリニア方式で引き伸ばし、リサイズします。ソース画像の高さと幅はそれぞれ投写高と投写幅の最大値まで引き伸ばされます。この方法では、元のソース画像の縦横比によっては投写縦横比が変わる場合があります。アナモフィックの設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっている画像に適しています。



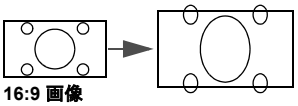
16:9 画像

2. **4:3**: スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるように画像を調整します。これは縦横比を変更せずにすむため、コンピュータモニタ、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 画像に適しています。

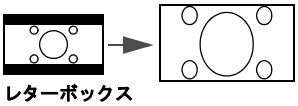


4:3 画像

3. **レター ボックス** (**LB**): プロジェクタの最高解像度に合わせて画像の横幅を調整し、画像の高さの投写幅の 3/4 にリサイズします。この場合、画像の高さが表示可能な高さを超えてしまい、投写画像の上下両端に沿って一部が消えてします場合があります (表示されない)。この設定は、レターボックス フォーマットで表示されるムービーに適しています (上下に黒いバーを持つもの)。

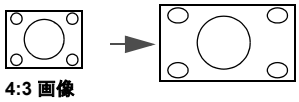


16:9 画像



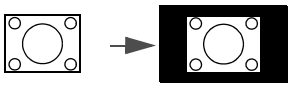
レターボックス フォーマット画像

4. **ワイド** : は非リニア方式で画像を横方向に引き伸ばします。つまり画像の中央部が歪むのを防止するために、画像の端が画像の中央よりも外側に引き伸ばされます。この設定は縦横比 4:3 の画像の幅を 16:9 スクリーンの幅に引き伸ばしたい場合に適しています。この場合、高さは変更されません。ワイドスクリーン ムービーの中には、その幅が 4:3 の幅まで縮小されているものがあり、この設定を使用することにより元の幅に戻して鑑賞することができます。



4:3 画像

5. **実寸** : この設定は投写中央部を変更またはリサイズすることなく、1 対 1 のピクセルマッピングで画像を表示します。この設定は PC や RGBHD ソース入力に適しています。



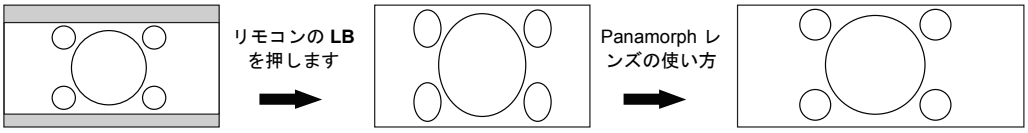
4:3 画像

☞ **黒い部分が無効になったエリアで、白い部分が有効なエリアです。**

未使用の黒いエリアには OSD メニューを表示することができます。

Panamorph レンズの使い方 (オプション)

Panamorph レンズは 16:9 プロジェクタを大抵の動画で使用されている 2.35:1 縦横比に変換し、画像の上または下に文字ボックスバーを表示せずに最高の状態でムービーを表示すると共に、解像度を 33%、輝度を 20% 向上させます。



縦横比 2.35:1 の画像

16:9 ディスプレイの全体を使用して表示した縦横比 2.35:1 画像

2.35:1 ディスプレイエリアの縦横比 2.35:1 の画像

2.35:1 画像を表示するには 2.35:1 スクリーンが必要な場合があります。
詳細は、www.panamorph.com をご覧になるか、プロジェクタを購入された販売店へお尋ねください。

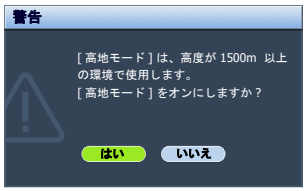
高地での操作

海抜 1500 メートル以上でこのプロジェクタを使用する場合、あるいは長時間 (>10 時間) 連続して使用する場合は、**高地モード**に設定するようお薦めします。

高地モードに設定するには :

1. MENU を押して、**詳細セットアップ**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して、**高地モード**を選択します。
3. ◀/▶ を押して**オン**を選択します。確認のメッセージが表示されます。
4. **はい**をハイライトして、ENTER を押します。





高地モードを選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。

上記の場合を除き、その他の極限環境でプロジェクタを使用すると、プロジェクタが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクタを過熱から保護するために設置された機能です。このような場合は、**高地モード**切り替えてみてください。これは、このプロジェクタが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。

複数の画像ソースを同時に表示する

このプロジェクタは 2 台の入力ソースから同時に画像を表示することができます。この機能を使用すると、プレゼンテーションをより興味深く行うことができます。表示したい信号がプロジェクタに正しく接続されていることを確認してください。

PIP ウィンドウを表示するには :

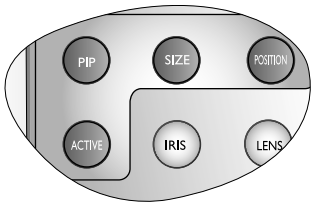
- **リモコンの使用方法**

PIP を押して **PIP** ページを表示し、「OSD メニューの使用方法」のセクションで説明するステップ 3 からの手順にしたがい調整を行います。

PIP ウィンドウがオンになっているときに PIP ウィンドウのサイズを変更するには、**SIZE** を押して任意のサイズを選択してください。

PIP ウィンドウがオンになっているときに PIP ウィンドウの位置を変更するには、**POSITION** を押して任意の位置を選択してください。

PIP ウィンドウがオンになっているときに ソースの 1 つを選択して調整するには、**ACTIVE** を押して任意のソースを選択してください。

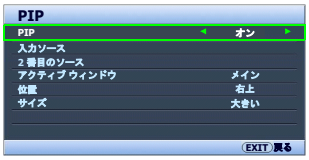


- **OSD メニューの使用方法**

1. **MENU** を押して、**ディスプレイ**メニューが表示されるまで◀/▶を押してください。
2. ▼ を押して **PIP** を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると **PIP** ページが表示されます。
3. **PIP** を選択し、◀/▶ を押して **オン**を選択してください。

プロジェクタは現在有効な 2 つの信号を選択し、最後に表示した画像をメインのソースとして大きいスクリーンに表示します。

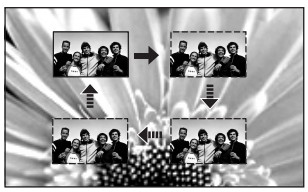


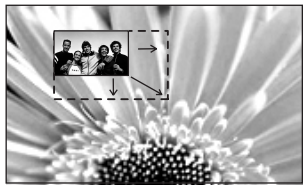


☞ **競合するソースの組み合わせについては、35 ページの "PIP ソース競合リスト " を参照してください。**

4. **入力ソース** か **2 番目のソース** , を変更するには、▼ を押して**入力ソース**か **2 番目のソース**を選択し、**ENTER** を押します。するとソース選択バーが表示されます。
5. ▲/▼ を使ってメイン (大きい方) ウィンドウか、2 番目のウィンドウに表示したいソースを選択し、**ENTER** を押すと設定が保存され、**PIP** ページに戻ります。
6. OSD 設定を 2 つのソース (メインか 2 番目) のうちのどちらかにするには、**アクティブ ウィンドウ**を選択した後、◀/▶ を押して調整したいソースを選択します。

   ☞ **OSD メニューで行った設定は、アクティブウィンドウでしか有効になりません。詳細は、35 ページの " アクティブウィンドウで無効な機能 " を参照してください。**





7. 小さい方の画像の位置を移動させるには、**位置**を選択し、適切な位置が選択されるまで ◀/▶ を押してください。
8. 小さい画像のサイズを変更するには、**サイズ**を選択し、◀/▶ を押して PIP サイズを **小さい**か**大きい**に設定します。
9. 設定を保存して OSD メニューを終了するには、**MENU** を 1 回押すか、メニューが消えるまで **EXIT** を押してください。

PIP ソース競合リスト

次のソースの組み合わせは、PIP 機能を使って同時に表示することはできません。**コンポーネント** + **ビデオ** , **コンポーネント** +S **ビデオ** および **ビデオ** +S **ビデオ**。

アクティブウィンドウで無効な機能

次の OSD メニューは PIP のアクティブウィンドウには使用できません。MyScreen, **自動ソース探知**。

オリジナルのスタートアップ画面を作成する

スタートアップ画面はプリセットの BenQ ロゴまたは青いスクリーンが用意されていますが、これら以外にもコンピュータやビデオソースからプロジェクタに画像をダウンロードすることによって、ユーザー自身のスタートアップ画面を作成することができます。

オリジナルのスタートアップ画面を作成するには、使用したい画像をコンピュータかビデオソースから投写します。残りの手順は次の通りです。

- **OSD メニューの使用方法**



1. MENU を押して、**システム設定**メニューが表示されるまで◀/▶を押してください。
2. ▼ を押して MyScreen を選択し、次に ENTER を押してください。確認のメッセージが表示されます。
3. ENTER を押します。
4. 画像をキャプチャしている間、**「画面のキャプチャ ...」**というメッセージが表示されます。処理が完了するまでお待ちください。
5. 処理が完了すると、**「キャプチャが完了しました」**というメッセージが表示されます。キャプチャした画像は MyScreen として保存されます。
6. キャプチャした画像をスタートアップ画面として表示するには、**システム設定** > **起動画面** メニューで MyScreen を設定し、プロジェクタを再起動してください。

まれにキャプチャ処理に失敗することがありますが、その場合はターゲットの画像を変更してみてください。

プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは自由に変えることができます。次の設定は投射設定、操作、性能には影響しません。

- **ユーザー モード名の変更** : 詳細は、27 ページの " ユーザーモードの名前変更 " を参照してください。
- **システム設定** > **メニュー設定** メニューの**メニュー表示時間** では、最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。設定は 5 秒毎に 5 から 30 秒までの範囲で設定できます。◀/▶を使って適切な時間を選択してください。
- **システム設定** > **メニュー設定** メニューの**メニュー位置** で OSD の位置を 5 つの位置に設定します。◀/▶ を使って任意の位置を選択してください。
- **システム設定**メニューの**言語**で OSD メニューの言語を設定します。詳細は、22 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
- **システム設定**メニューの**起動画面**で、スタートアップ時に表示するロゴ画面を設定します。詳細は、36 ページの " オリジナルのスタートアップ画面を作成する " を参照してください。

コントロールキーをロックする

リモコンやプロジェクタのコントロールキーをロックしておくと、プロジェクタの設定が誤って変更されるのを防止することができます。**キー ロック** が有効になっているときには、POWER と EXIT を除き、リモコンとプロジェクタのコントロールキーは使用できません。

キーをロックするには :

- **OSD メニューの使用方法**

1. MENU を押して、**詳細セットアップ**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して、**キー ロック**を選択し、次に ENTER を押してください。するとコントロールキーがロックされます。

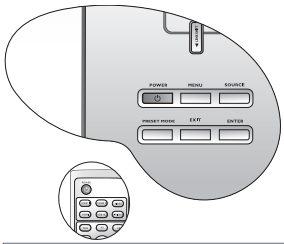


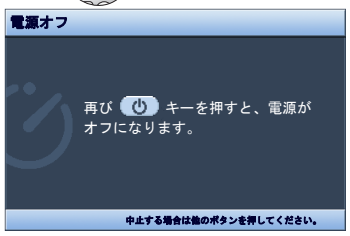
キーをロック解除するには、プロジェクタかリモコンで 5 秒間 EXIT を押します。

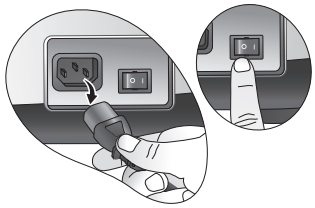
終了

プロジェクタの電源を切るには、プロジェクタかリモコンの POWER ( ) を押すと確認メッセージが表示されます。もう一度 POWER を押してください。.

- 電源インジケータライトがオレンジ色に点滅し、ファンが約２分間作動してランプを冷却します。プロジェクタは冷却が完了するまで、いかなるコマンドにも応答しません。
- その後、冷却が完了してファンが停止したら、電源インジケータライトがオレンジ色に点灯します。
- 長期間プロジェクタを使用しない場合はメイン電源を切り、電源ケーブルを外しておいてください。
- ランプを保護するため、冷却プロセスの間は、プロジェクタはいかなるコマンドにも反応しません。







OSD (On-Screen Display) メニュー

オン スクリーン ディスプレイ (OSD) の構造

OSD メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。

メインメニュー	サブメニュー		オプション
ピクチャ -- 基本設定	ピクチャ モード		シネマ モード / ダイナミック / 標準 / ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3
	設定のロード元		
	輝度		0–100
	コントラスト		0–100
	色		0–100
	色合い		-20–+20
	シャープネス		0–8
	ピクチャ設定をリセット		
	ユーザー モード名の変更		
ピクチャ -- 詳細設定	黒レベル		0 IRE/7.5 IRE
	透明度調整	ノイズ縮減	0/1/2/3
		詳細拡張設定	0-10
		LTI	0/1/2
		CTI	0/1/2
	色温度		ランプ ネイティブ / 高い / 標準 / 低い / ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3
	ユーザーの色温度の微調整	赤を強調	0–100
		緑を強調	0–100
		青を強調	0–100
		赤オフセット	0–100
		緑オフセット	0–100
		青オフセット	0–100
	ガンマ選択		2.2/2.4/2.5/2.6/2.8
	Brilliant Color		オン / オフ
	色管理	原色	赤 / 黄 / 緑 / シアン / 青 / マゼンタ
		範囲	0–100
		彩度	0–100
	Dynamic Black		オン / オフ
	IRIS		0–19
	レンズシフトレンズシフト		
ディスプレイ	縦横比		アナモフィック /4:3/ ワイド / 実寸 / レター ボックス
	キーストーン	2D キーストーン	
	位置		
	オーバースキャン調整		0/1/2/3
	PIP	PIP	オン / オフ
		入力ソース	ビデオ /S ビデオ / コンポーネント 1/ コンポーネント 2/HDMI 1/HDMI 2/RGB HD
		2 番目のソース	
		アクティブ ウィンドウ	メイン / 秒
		位置	右上 / 左上 / 右下 / 左下
		サイズ	大きい / 小さい
	PC と コンポーネント YPbPr の調整	水平サイズ	-15–+15
		位相	-15–+15
		自動	

システム設定	言語		English / Français / Deutsch / Italiano / Español / Русский / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / Svenska / Nederlands / Türkçe / Čeština / Português / ไทย / Polski
	起動画面		BenQ/ 青 /MyScreen
	MyScreen		
	プロジェクタの位置		床面前面 / 天井前面 / 床面背面 / 天井背面
	自動電源オフ		無効 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 /25 分 /30 分
	スリープ タイマー		無効 /30 分 /60 分 /90 分 /120 分 /150 分 / 180 分
	背景色		紫 / 黒 / 青
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 /10 秒 /15 秒 /20 秒 /25 秒 /30 秒
		メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 右下 / 左下
	入力ソース		HDMI 1/HDMI 2/ ビデオ /S ビデオ / コンポーネント 1/ コンポーネント 2/RGB HD
	自動ソース探知		オン / オフ
詳細セットアップ	ランプ	ランプ電源	標準 / 小音量
		ランプ時間	(ランプ時間情報を表示します)
		タイマーのリセット	
	パターン	グリッド	
		カラーバー	
	ダストフィルタ	ダスト フィルタ使用時間	(ランプ時間情報を表示します)
		ダストフィルタ タイマーを戻す	
	高地モード		オン / オフ
	パスワード	パスワード	オン / オフ
		パスワードの変更	(現在のパスワードを入力します)
	キー ロック		
	全設定をリセット		
	ISF		(現在のパスワードを入力します)
情報	ソース		
	ピクチャ モード		
	解像度		
	ランプ時間	標準	
		小音量	
		合計	
	ダスト フィルタ使用時間		

メニューアイテムはプロジェクタが最低 1 つの有効な信号を検出しなければ有効にはなりません。プロジェクタに装置が接続されていなかったり、信号が何も検出されなければ、限られたメニューアイテムにしかアクセスすることができません。

本書にリストされているデフォルト値は (特に 40-42 ページ)、参照用です。製品は常に改善されておりますため、これらの値はプロジェクタによって異なる場合があります。

ピクチャ -- 基本設定メニュー

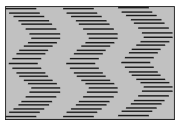
機能 (デフォルト設定 / 値)	説明
ピクチャ モード (**シネマ モード**)	あらかじめ定義したピクチャモードを利用すると、ご使用のプログラムタイプに最適なプロジェクタの画像を設定することができます。詳細は、26 ページの " プリセットモードの選択 " を参照してください。
設定のロード元	必要な画質に最も合ったピクチャモードを選択し、下にリストした選択内容を元に画像を微調整します。詳細は、27 ページの " ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードの設定 " を参照してください。
輝度 (選択した入力ソースによって変わります)	画像の輝度を調整します。詳細は、28 ページの " 調整輝度 " を参照してください。
コントラスト (選択した入力ソースによって変わります)	画像の明るさと暗さの差を調整します。詳細は、28 ページの " 調整コントラスト " を参照してください。
色 (選択した入力ソースによって変わります)	彩度レベル ñ ビデオ映像の各色の量を調整します。詳細は、28 ページの " 調整色 " を参照してください。
色合い (選択した入力ソースによって変わります)	画像の赤と緑を調整します。詳細は、28 ページの " 調整色合い " を参照してください。
シャープネス (選択した入力ソースによって変わります)	画像がシャープまたはソフトになるように調整します。詳細は、28 ページの " 調整シャープネス " を参照してください。
ピクチャ設定をリセット	**ピクチャ -- 基本設定**と**ピクチャ -- 詳細設定**メニューの全設定を工場出荷時の値に戻します。詳細は、27 ページの " ピクチャモードのリセット " を参照してください。
ユーザー モード名の変更	**ユーザー 1**、**ユーザー 2**、あるいは**ユーザー 3** に別名を付けます。詳細は、27 ページの " ユーザーモードの名前変更 " を参照してください。

ピクチャ -- 詳細設定メニュー

機能 (デフォルト設定 / 値)	説明
黒レベル (**0 IRE**)	画像のグレイスケールを **0 IRE** か **7.5 IRE** に設定します。詳細は、29 ページの " 設定黒レベル " を参照してください。
透明度調整	画像の明瞭さを調整します。詳細は、29 ページの " 画像の透明度を調整する " を参照してください。
色温度 (選択した**ピクチャ モード**によります)	いくつかの色温度設定が使用できます。詳細は、29 ページの " 色温度の選択 *" を参照してください。
ユーザーの色温度の微調整	詳細は、30 ページの " 色温度の設定 " を参照してください。
ガンマ選択 (選択した**ピクチャ モード**によります)	詳細は、31 ページの " ガンマ設定の選択 " を参照してください。

Brilliant Color **(オン)**	詳細は、31 ページの " 調整 Brilliant Color" を参照してください。
色管理	詳細は、30 ページの " 色管理 " を参照してください。
Dynamic Black **(オン)**	詳細は、32 ページの "IRIS によりコントラストを調整する " を参照してください。
IRIS	詳細は、32 ページの "IRIS によりコントラストを調整する " を参照してください。
レンズシフトレンズシフト	詳細は、13 ページの " 投写レンズの縦方向シフト " を参照してください。

ディスプレイメニュー

機能 (デフォルト設定 / 値)	**説明**
縦横比 **(アナモフィック)**	入力信号ソースによって、画像の縦横比を設定するためのいくつかのオプションがあります。詳細は、33 ページの " 縦横比の選択 " を参照してください。
キーストーン (0)	画像のキーストーンを補正します。詳細は、25 ページの " 画像の歪みの補正する " を参照してください。
位置 (0)	位置調整ページが開きます。投写画像の位置を変えるには、方向矢印キーを使用します。ページの下に表示される値は、キーを押すたびにその最高値または最低値に達するまで変化します。
オーバースキャン調整 (選択した入力ソースによって変わります)	四辺の画質が悪いエリアを隠します。隠す割合は、◀/▶ を使って手動で調整することもできます。0 に設定すると、画像が 100% 完全に表示されます。値を高くするほどより多くのエリアが隠され、スクリーンは幾何学的に正確に埋め尽くされます。
PIP	PIP ウィンドウをオン / オフにして、関係のある調整を行います。詳細は、35 ページの " 複数の画像ソースを同時に表示する " を参照してください。
PC と コンポーネント YPbPr の調整	**水平サイズ** (0) 画像の幅を調整します。 **位相** (0) クロック位相を調整して画像の歪みを縮減します。 **自動** 位相と周波数を自動的に調整します。 

システム設定メニュー

機能 (デフォルト設定 / 値)	**説明**
言語 (English)	オンスクリーン メニュー (OSD) の言語を設定します。詳細は、22 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
起動画面 (BenQ ロゴ)	プロジェクタ起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。選択肢には以下の 3 つがあります。**BenQ** ロゴスクリーン、**青**スクリーン、または **MyScreen**。
MyScreen	キャプチャした投写画像を MyScreen として保存します。詳細は、36 ページの " オリジナルのスタートアップ画面を作成する " を参照してください。
プロジェクタの位置 **(床面前面)**	プロジェクタは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数のミラーを使用して設置することができます。詳細は、13 ページの " スクリーンサイズの調整 " を参照してください。

自動電源オフ (無効)	長時間信号が何も検出されなければ、投写を停止します。詳細は、46 ページの " 設定自動電源オフ " を参照してください。
スリープ タイマー (無効)	自動的にシャットダウンするまでのタイマーを設定します。タイマーは 30 分から３時間までの範囲で設定できます。
背景色 (**青**)	入力信号が検出されないときに表示される、背景スクリーンの色を選択します。
メニュー設定	**メニュー表示時間** （15 秒） 最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。設定は 5 秒毎に 5 から 30 秒までの範囲で設定できます。 **メニュー位置** （中央） オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。
入力ソース	投写する入力ソースを選択します。詳細は、21 ページの " 入力ソースの選択 " を参照してください。
自動ソース探知 （オフ）	プロジェクタで自動的に入力ソースを検索するかどうかを設定します。ソーススキャンが**オン**の場合、プロジェクタは信号を取得するまで入力ソースをスキャンします。この機能が有効になっていない場合は、最後に使用した入力ソースが選択されます。

詳細セットアップメニュー

機能 (デフォルト設定 / 値)	**説明**
ランプ	**ランプ電源** （標準） プロジェクタのランプのモードを**標準**かに切り替えます。 **ランプ時間** ランプ時間情報を表示します。詳細は、46 ページの " ランプ時間を知るには " を参照してください。 **タイマーのリセット** ランプを交換した後は、**リセット**を選択してランプタイマーを 0 に戻してください。詳細は、49 ページの " ランプタイマーをリセットします。" を参照してください。
パターン	**グリッド** ENTER を押すとグリッドテストパターンが表示されます。これは画像サイズとピントを調整し、投写画像に歪みがないかどうかを確認するときに使用します。 **カラーバー** ENTER を押すとカラーバー テストパターンが表示されます。このテストパターンは色が思い通りに表示されているかどうかを確認するときに使用します。
ダストフィルタ	**ダスト フィルタ使用時間** ダストフィルタの使用時間が表示されます。 **ダストフィルタ タイマーを戻す** ダストフィルタ タイマーが 0 にリセットされます。詳細は、45 ページの " フィルタを掃除するには " を参照してください。
高地モード （オフ）	高地や温度が高い場所で使用するときのモードです。詳細は、34 ページの " 高地での操作 " を参照してください。

パスワード	**パスワード**（オフ） パスワードを知っているユーザーのみプロジェクタを操作できるようにします。詳細は、23 ページの " パスワード機能の使い方 " を参照してください。 **パスワードの変更** 新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。詳細は、23 ページの " パスワード機能の使い方 " を参照してください。
キー ロック	POWER と EXIT を除き、プロジェクタおよびリモコンのキーをロックします。詳細は、37 ページの " コントロールキーをロックする " を参照してください。
全設定をリセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 ☞ **次の設定は現在の設定値のまま維持されます。ユーザーモードの名前、キーストーン、位置、水平サイズ、位相、言語、プロジェクタの位置、高地モード、ランプ、パスワード。**
ISF	「ISF Calibration」メニューはパスワードにより保護されており、認証された ISF キャリブレータしかアクセスすることができません。ISF (Imaging Science Foundation) は最適なビデオ性能を実現するために業界が認める規格を入念に開発し、技術者と設置技術者のトレーニングプログラムに導入しました。これらの規格を採用することにより、BenQ ビデオディスプレイ装置から最適な画質を得ることができます。したがって、ISF 認証を受けた技術者により設定と調整を行うよう推奨します。 ☞ **詳細は、www.imagingscience.com をご覧になるか、プロジェクタを購入された販売店へお尋ねください。**

情報メニュー

このメニューでは、プロジェクタの現在の操作状態を表示します。

☞ **項目によっては、特定の入力ソースを使用している場合にしか調整できないものもあります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。**

機能	説明
ソース	現在の信号ソースを表示します。
ピクチャ モード	**ピクチャ -- 基本設定 > ピクチャ モード**メニューで選択したモードを表示します。
解像度	入力ソースの最高解像度を表示します。
ランプ時間	**標準**モードとモードでの使用した場合のランプ時間を表示します。
ダスト フィルタ使用時間	フィルタの使用合計時間を表示します。

追加情報

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。ユーザー自身で定期的に行う必要があるお手入れは、レンズの掃除とエアフィルタの掃除または交換のみです。ランプまたはエアフィルタを除き、プロジェクタの部品は一切取り外さないでください。プロジェクタが正常に作動しなくなった場合は、販売店かお近くの BenQ カスタマーサービスセンターへお問い合わせください。

レンズのクリーニング

表面の汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。レンズのクリーニングを開始する前に、プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

1. 圧縮空気スプレーを使用してほこりを取り除きます。(ハードウェア販売店やカメラショップでご購入いただけます。)
2. 汚れやしみが付いた場合は、適切なカメラレンズブラシを使用するか、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭いてください。

☞ **レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。**

プロジェクタケースのクリーニング

ケースのクリーニングする前に、プロジェクタの電源をオフにして電源ケーブルを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

1. ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
2. 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

☞ **ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。**

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

1. 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。範囲については、マニュアルの仕様ページを参照するか、販売店にお問い合わせください。
2. アジャスタフットを格納します。
3. リモコンから電池を取り外します。
4. プロジェクタを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。ご自分で運ぶ場合は、携帯用ソフトケースを使用してください。

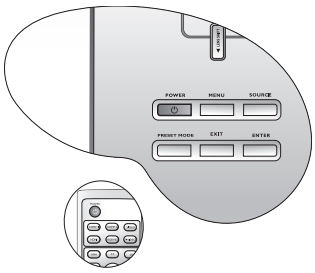
ダストフィルタのお手入れと取り替え

右のメッセージは 500 時間使用する毎に表示されます。また**詳細セットアップ** > **ダストフィルタ** > **ダスト フィルタ使用時間**メニューや、**情報** > **ダスト フィルタ使用時間**メニューを使うとフィルタの使用時間を確認することもできます。フィルタが汚れていると汚れがこびり付き、適切な通気ができなくなります。これはプロジェクタの過熱や故障の原因となります。プロジェクタのフィルタの汚れがひどい場合は、プロジェクタ内部が過熱する場合があります。

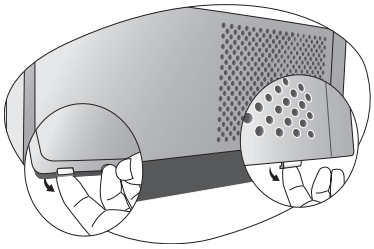


フィルタを掃除するには

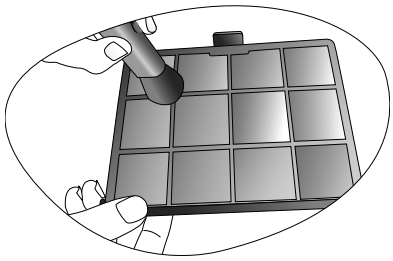
1. プロジェクタの電源をオンにすると、オフにして、ファンが停止するまでお待ちください。



2. パネルの下端にあるタブをゆっくりと引いて (図を参照)、フィルタカバーの底面端 (プロジェクタの右側) を外します。

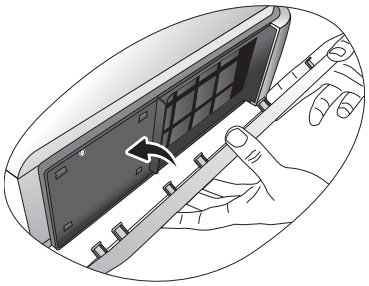


5. 小型掃除機 (コンピュータやオフィス装置用のもの) か、柔らかいブラシ (清潔なペイント用筆など) を使ってホコリを除去してください。

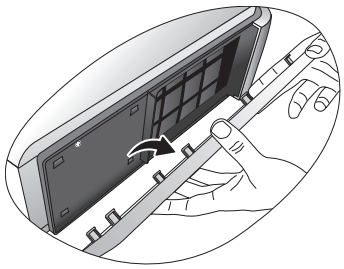


- 汚れが落ちなかったり、フィルタが壊れたりした場合は、新しいフィルタに交換してください。

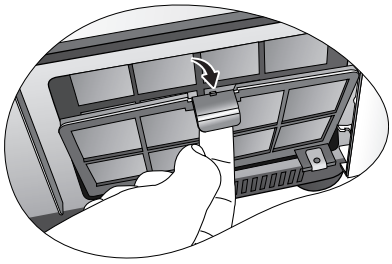
6. フィルタグリルとカバーをしっかりと装着します。



3. 緩めたカバーを縦方向にゆっくりと持ち上げてフィルタカバーを外し、プロジェクタ本体から外します。



4. タブを外側に引いてプロジェクタからダストフィルタ グリルを外します。



7. 電源を再び入れて、プロジェクタをオンにします。
   - フィルタグリルが正しく設置されていなければ、OK を選択して ENTER を押すまでメッセージが表示され続けます。
   - そのまま何もしなければ、プロジェクタは１分以内に自動的に電源が切れます。フィルタとカバーを正しく装着し、その後で電源を入れてください。

フィルタタイマーのリセット

☞ **フィルタを交換しなかった場合は、フィルタタイマーはリセットしないでください。**

1. スタートアップロゴが表示された後、MENU を押して、**詳細セットアップ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して**ダストフィルタ**を選択し、次に ENTER を押してください。すると**ダストフィルタ**ページが表示されます。
3. **ダストフィルタ タイマーを戻す**を選択し、ENTER を押します。ランプタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。**リセット**を選択し、ENTER を押します。するとフィルタ時間が 0 にリセットされます。

☞ **フィルタを交換していない場合はリセットしないでください。フィルタが破損する恐れがあります。**

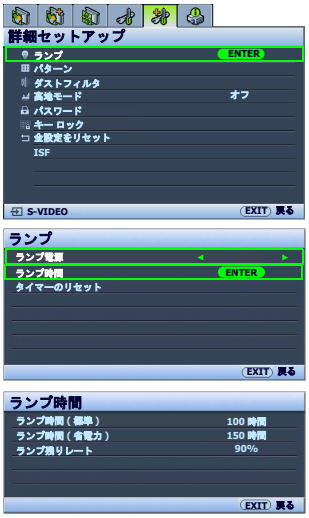
ランプについて

ランプ時間を知るには

プロジェクタが作動している間、プロジェクタに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。ランプ時間の計算方法は次の通りです。

ランプ時間 (補正済み)
= 1 （ 小音量モードでの使用時間）+ 3/2（ **標準**モードでの使用時間）

☞ **モードについての詳細は、下の " ランプ電源を小音量モードに設定する " を参照してください。**



ランプ使用時間を知るには :

1. MENU を押して、**詳細セットアップ**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して**ランプ**を選択し、次に ENTER を押してください。すると**ランプ**ページが表示されます。
3. **ランプ時間**を選択して ENTER を押すと、**ランプ時間**ページが表示されます。
4. メニューを終了するには、MENU を押します。

ランプ残りレートについて :

ランプ残りレートはランプの残り寿命をパーセンテージで示します。レートの計算方法は次の通りです。

残りレート = [1 - (ランプの合計時間 /3000)] x 100%

ランプ寿命を延長する

投写ランプは消耗品であり、通常は正常に使用していれば 2000-3000 時間もちます。ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。



- **ランプ電源を小音量モードに設定する**

ウィスパーモードに設定すると、システムノイズと電力消費量を低減することができます。小音量モードを有効にすると、出力されるライトが低減され、その結果投写画像が暗くなります。

プロジェクタを小音量モードで使用すると、ランプタイマーの自動シャットダウン機能が延長されます。小音量モードに設定するには、**詳細セットアップ** > **ランプ** > **ランプ電源**メニューに進み、◀/▶ を押します。

- **設定自動電源オフ**

指定した時間を経過しても入力ソースが検出されないときに、自動的にプロジェクタの電源をオフにします。

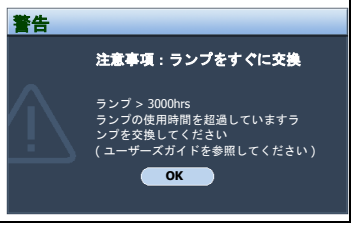
自動電源オフに設定するには、**システム設定** > **自動電源オフ** メニューに進み、◀/▶ を押します。タイマーは 5 分おきに 5 分から 30 分の範囲で設定できます。プリセットの時間がこれから行うプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択してください。この場合、一定時間が経過してもプロジェクタは自動的にシャットダウンしません。

ランプ交換のタイミング

ランプインジケータが赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付けるか、お買い上げの販売店にご相談ください。古いランプを使用すると、プロジェクタの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

ランプの温度が異常に高くなると、ランプインジケータライトおよび温度警告ライトが点灯します。この場合は、電源をオフにして 45 分間ほど放置し、プロジェクタを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときにランプインジケータまたは温度インジケータが点灯する場合は、販売店にご相談ください。詳細は、50 ページの " インジケータ " を参照してください。

次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

状態	メッセージ
ランプの動作時間が 2000 時間を超えました。動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。通常プロジェクタを**小音量**で起動している場合は （46 ページの " ランプ時間を知るには " を参照してください）、2950 時間のランプ警告メッセージが表示されるまでプロジェクタを使用することができます。 ENTER を押すと、メッセージが消去されます。	
ランプの動作時間が 2980 時間を超えました。この時点でランプを交換されるよう強くお薦めします。ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが徐々に失われます。これは正常な現象です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。ランプの使用時間が 2950 時間を超えたらランプを交換してください。 ENTER を押すと、メッセージが消去されます。	
ランプの動作時間が 3000 時間を超えました。プロジェクタを正常に動作させるには、ランプを交換してください。 ENTER を押すと、メッセージが消去されます。	

ランプの交換

感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

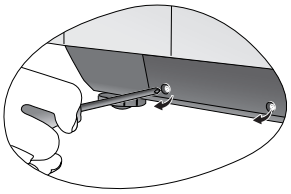
重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクタを冷却してください。

割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。

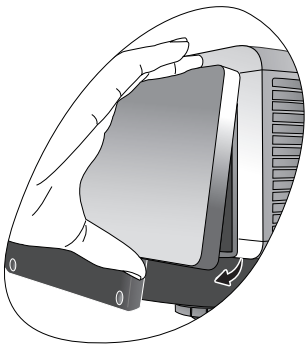
指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプ ケースには触れないでください。

このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。

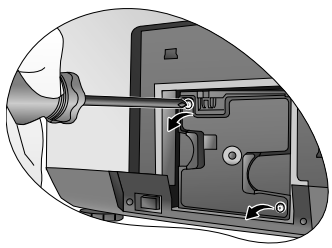
1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。接続されている機器をすべてオフにして、すべてのケーブルを外します。詳細は、37 ページの " 終了 " を参照してください。
2. プロジェクタを少し持ち上げます。ランプカバーのネジ (左側にあります) を緩めます。



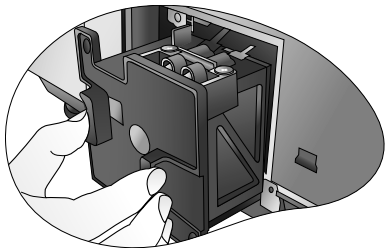
3. ランプカバーを外します。



4. ランプをプロジェクタに固定しているネジを緩めます。指にけがをする恐れがあるので、ネジを完全に緩めてください。磁気ヘッドのドライバを使用することを強くお薦めします。



5. ゆっくりとランプをプロジェクタから引っ張ります。



急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。指にけがをしたり、内部コンポーネントにキズがついたりする場合がありますので、破損したランプガラスを除去するときには特に注意してください。

取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。

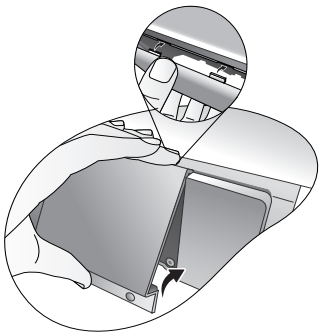
ランプを取り出した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学コンポーネントに触れると、画像ぼけの原因となります。

6. Insert the replacement lamp. ランプが正しい位置に挿入されたことを確認してください。
7. ランプボックスを固定するネジを締めます。

ネジは締めすぎないでください。

ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。

8. ランプカバーを元に戻します。



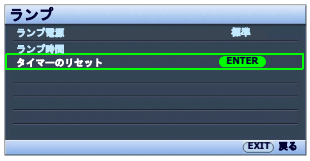
9. ランプカバーのネジを締めます。
10. 電源を再び入れて、プロジェクタをオンにします。

ランプタイマーをリセットします。

☞ **ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。**

1. スタートアップロゴが表示された後、MENU を押して、**詳細セットアップ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して**ランプ**を選択し、次に ENTER を押してください。すると **ランプ** ページが表示されます。
3. **タイマーのリセット**を選択し、ENTER を押します。ランプタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。**リセット**を選択し、ENTER を押します。するとランプ時間が 0 にリセットされます。







日本語

インジケータ

プロジェクタの状態を示すインジケータライトは 3 個あります。インジケータライトについては、次の情報を参照してください。問題がある場合はプロジェクタの電源を切り、販売店にお問い合わせください。

プロジェクタが正常の場合

電源	温度	ランプ	状態と説明
赤	赤	赤	メイン電源がオンになっています。
オレンジ	オフ	オフ	スタンバイ モード
緑 点滅	オフ	オフ	電源を入れています
緑	オフ	オフ	通常動作状態です
オレンジ 点滅	オフ	オフ	• 通常の冷却プロセスを経過せずに異常終了したため、プロジェクタの冷却に 90 秒必要です。 • 電源を切った後、プロジェクタは 90 秒間の冷却時間が必要です。

プロジェクタが異常の場合

<table>
<tr><th>電源</th><th>温度</th><th>ランプ</th><th colspan="2">状態と説明</th></tr>
<tr><td>オフ</td><td>オフ</td><td>赤</td><td colspan="2">• ランプが破損しています。お近くの BenQ カスタマーセンターへお問い合わせの上、新しいランプをご購入ください。</td></tr>
<tr><td>オレンジ</td><td>オフ</td><td>赤</td><td colspan="2">• ランプが正しく装着されていません。
• ランプが破損しています。お近くの BenQ カスタマーセンターへお問い合わせの上、新しいランプをご購入ください。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>赤</td><td>オフ</td><td rowspan="4">ファンが動作していません。</td><td rowspan="16">プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>赤</td><td>赤</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>赤</td><td>緑</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>赤</td><td>オレンジ</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>緑</td><td>赤</td><td rowspan="3">ファンセンサー エラー
パワーアップ時にファンが回転しません。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>緑</td><td>オレンジ</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>オレンジ</td><td>赤</td></tr>
<tr><td>赤</td><td>赤</td><td>赤</td><td rowspan="6">温度条件エラー</td></tr>
<tr><td>赤</td><td>赤</td><td>緑</td></tr>
<tr><td>赤</td><td>赤</td><td>オレンジ</td></tr>
<tr><td>緑</td><td>赤</td><td>赤</td></tr>
<tr><td>緑</td><td>赤</td><td>緑</td></tr>
<tr><td>緑</td><td>赤</td><td>オレンジ</td></tr>
<tr><td>オレンジ</td><td>赤</td><td>赤</td><td colspan="2" rowspan="3">内部温度が異常に高くなっています。
• 収気用または排気用の孔が塞がっています。
• プロジェクタの通気に異常があります。
• 環境温度が高すぎます。</td></tr>
<tr><td>オレンジ</td><td>赤</td><td>緑</td></tr>
<tr><td>オレンジ</td><td>赤</td><td>オレンジ</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>オレンジ</td><td>緑</td><td colspan="2">ダストフィルタが非常に汚れています。プロジェクタはシャットダウンします。</td></tr>
</table>

日本語

トラブルシューティング

問題	原因	対応
プロジェクタの電源がオンにならない	電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。(詳細は 20 を参照してください。)
	電源スイッチがオンの状態になっていません。	電源スイッチをオンにします。(詳細は 20 を参照してください。)
	冷却プロセスの間にプロジェクタの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。
	ランプカバーがしっかり装着されていません。	ランプカバーを正しく装着しなおしてください。(詳細は 47 を参照してください。)
画像が映らない	ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。(詳細は 17 を参照してください。)
	プロジェクタが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。(詳細は 17 を参照してください。)
	入力信号が正しく選択されていません。	リモコンの［ソース］ボタンを押すか、プロジェクタの SOURCE で正しい入力信号を選択します。(詳細は 21 を参照してください。)
イメージが不安定	接続ケーブルがプロジェクタまたは信号ソースにしっかりと接続されていません。	ケーブルを適切な端末に正しく接続します。(詳細は 17 を参照してください。)
イメージがぼやける	投写レンズの焦点が合っていません。	ピントリングで焦点を合わせます。(詳細は 22 を参照してください。)
	プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であれば装置の高さを調整します。(詳細は 25 を参照してください。)
リモコンが機能しない	電池が切れています。	新しい電池に交換します。(詳細は 6 を参照してください。)
	リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除きます。(詳細は 6 を参照してください。)
	プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 8 メートル (26.2 フィート) 以内の場所に立ちます。(詳細は 6 を参照してください。)

仕様

☞ 仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

光学

投写システム	1-CHIP DLP™ システム。
DMD チップ	0.95" DLP (1920 x 1080)
レンズ	F=2.4 ～ 2.7、f=38.87 ～ 46.63 mm
投写スクリーンサイズ	41" ～ 300"
ランプ	200W

電気仕様

互換性	PC: 640 x 400 ～ 1920 x 1080 (16:9)
	ビデオ：NTSC、PAL、SECAM、YPbPr NTSC(480i)/480p/PAL(576i)/576p, HDTV (720p/1080i)
	DDC 2B
カラースペース	色域 > 55% NTSC

端末

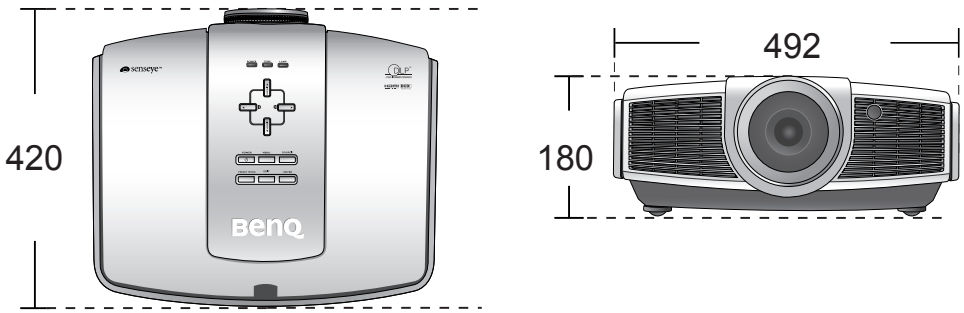
入力	アナログ RGB：BNC x 5
	HDMI (V. 1.2) x 2
	コンポーネントビデオ (Y/ C_B/ C_R、Y/ P_B/ P_R) x 1
	コンポーネントビデオ (Y/ C_B/ C_R、Y/ P_B/ P_R) x 1 (BNC と共有)
	コンポジットビデオ x 1
	S ビデオ x 1
出力	12VDC (最大 0.5A)
コントロール	シリアルコネクタ：RS232 8 ピン MINI DIN

機械仕様

プロジェクタの重量	9.6 kg (21.2 lbs)
電源	VAC 100 -240V、3.2 A、50 - 60 Hz (自動)
消費電力	最大 340W
動作温度範囲	0 ºC ～ 35 ºC （海抜 0 メートル）
動作湿度	10% ～ 90% (結露なきこと)
動作高度	0 ～ 1499 m (0ºC ～ 35ºC)
	1500 ～ 3000 m (23ºC ～ 30ºC) (高地モード)
保管温度	-20ºC ～ 60ºC / -20ºF ～ 140ºF
保管湿度	10% - 90%

外形寸法

492 x 180 x 420 mm (W x H x D)



単位：mm

タイミングチャート

RGBHV 入力用にサポートされているタイミング (アナログまたはデジタル PC 信号)

フォーマット	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
720 x 400	720 x 400	70	31.469	28.322
		85	37.9	35.5
640 x 480	640 x 480	60	31.469	25.175
		72	37.861	31.5
		75	37.5	31.5
		85	43.269	36
800 x 600	800 x 600	50	31.3	32.051
		56	35.156	36
		60	37.879	40
		72	48.077	50
		75	46.875	49.5
		85	53.674	56.25
848 x 480	848 x 480	60	31.02	33.75
1024 x 768	1024 x 768	60	48.363	65
		70	56.476	75
		75	60.023	78.75
		85	68.677	94.5
1152 x 864	1152 x 864	75	67.5	108
1280 x 768	1280 x 768	60	47.396	68.25
		60	47.776	79.5
		75	60.289	102.25
		85	68.633	117.5
1280 x 960	1280 x 960	60	60	108
		85	85.938	148.5
1280 x 1024	1280 x 1024	60	63.981	108
		75	79.976	135
		85	91.146	157.5
1360 x 768	1360 x 768	60	47.712	85.5
1400 x 1050	1400 x 1050	60	64.744	101
		60	65.317	121.75
		75	82.278	156
1440 x 900	1440 x 900	60	55.469	88.75
		60	59.935	106.5
		75	70.635	136.75
		85	80.43	157
1600 x 1200	1600 x 1200	60	75	162
1680 x 1050	1680 x 1050	60	64.674	119
		60	65.29	146.25
1920 x 1200	1920 x 1200	60	74.038	154

HDMI 入力用にサポートされているタイミング

フォーマット	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
480/60i	720 x 487	59.94	15.734	13.5
480/60p	720 x 483	59.94	31.469	27
576/50i	720 x 576	50	15.625	14.75
576/50p	720 x 576	50	31.25	29
720/50p	1280 x 720	50	37.5	75.25
720/60p	1280 x 720	60	45	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.125/31.25	74.25/72
1080/60i	1920 x 1080	59.94/60	33.716/33.75	74.175/74.25
1080/24P	1920 x 1080	23.98/24	26.978/27	74.175/74.25
1080/25P	1920 x 1080	25	28.125	74.25
1080/30P	1920 x 1080	29.97/30	33.716/33.75	74.175/74.25
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60P	1920 x 1080	59.94/60	67.433/67.5	148.35/148.5

EDTV および HDTV 入力用にサポートされているタイミング (コンポーネント入力および RGBHV 入力)

フォーマット	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
480/60i	720 x 487	59.94	15.734	13.5
480/60p	720 x 483	59.94	31.469	27
576/50i	720 x 576	50	15.625	14.75
576/50p	720 x 576	50	31.25	29
720/50p	1280 x 720	50	37.5	75.25
720/60p	1280 x 720	60	45	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.125/31.25	74.25/72
1080/60i	1920 x 1080	59.94/60	33.716/33.75	74.175/74.25
1080/24P	1920 x 1080	23.98/24	26.978/27	74.175/74.25
1080/25P	1920 x 1080	25	28.125	74.25
1080/30P	1920 x 1080	29.97/30	33.716/33.75	74.175/74.25
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60P	1920 x 1080	59.94/60	67.433/67.5	148.35/148.5

ビデオおよび S ビデオ入力用にサポートされているタイミング

フォーマット	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
NTSC 3.58	-	59.94/60	15.734/15.75	3.58
NTSC 4.43	-	59.94/60	15.734/15.75	4.43
PAL-B/G	-	50	15.625	4.43
PAL M	-	59.94/60	15.734/15.75	3.58
PAL N	-	50	15.625	3.58
PAL 60	-	59.94/60	15.734/15.75	4.43
SECAM	-	50	15.625	4.25/4.41

保証と著作権について

保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換 (工賃を含む) に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。

特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0 ℃ から 40 ℃ の間、高度 3000 メートル以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

著作権

Copyright © 2007 by BenQ コーポレーション .All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ コーポレーションの事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

すべての商標と登録商標の所有権は、各社に帰属します。

免責

BenQ コーポレーションは、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても BenQ コーポレーションが通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

法規

FCC 規則 (米国用)

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。

B クラス : 本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- このデバイスと受信装置の距離をあける
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーか経験のあるラジオ /TV 技術者に問い合わせる

EEC 規則 (ヨーロッパ用)

本製品は EMC (Electro Magnetic Compatibility：電磁的両立性) に関する ECC 指令 89/336/EEC に適合することが試験の結果確認されています。

MIC 規則

B クラス装置（家庭用情報 / 電気通信装置）

本装置は家庭用として EMC 登録を受けているため、本製品は住居地域を含む任意の地域で使用できます。

WEEE 指令

ヨーロッパ共同体における家庭からの電子および電気製品の廃棄について。

本製品または梱包材料に記載されているこの記号は、これを家庭廃棄物として破棄することができないことを意味しています。電子または電気装置の再利用規定に基づいて処理してください。本装置の再利用についての詳しい情報は、お住まい地域の市役所、本製品を購入された店、または家庭廃棄物処理機関にお問い合わせください。素材の再利用は自然環境の保護に役立つと共に、人類の健康や環境を確実に保護する方法で再利用されます。

